
**受注者向け納品データ作成ツール
操作マニュアル**

1. 概要
2. 準備
3. 操作

第十版 令和 8 年 4 月 1 日

川崎市建設緑政局総務部技術監理課

改訂欄

改訂	ページ	改訂内容
初版 (H22. 5. 31)		初版
第二版 (H22. 11. 16)		Ver. 2 機能の内容を追記
第三版 (H23. 2. 1)		Ver. 3 機能の内容を追記
第四版 (H23. 6. 16)		Ver. 3 機能(SXF 図面ラスタファイル追加機能)の内容を追記
第五版 (H23. 7. 31)		ファイルの登録手順について説明内容を改訂
第六版 (H25. 3. 12)		Ver. 4 機能の内容を追記
第七版 (H28. 2. 15)		Ver. 5 機能の内容を追記
第八版 (R3. 3. 31)		Ver. 6 機能の内容を追記
第九版 (R4. 3. 25)		.NET Framework のインストール方法を改訂
第十版 (R8. 4. 1)		Windows10 以前の OS は、Microsoft のサポート終了に伴い、動作環境から除外 .NET Framework のバージョンアップに伴う、改訂

目次

1. 概要	4
1.1 受注者向け納品データ作成ツールの位置付け	4
1.2 ツールでできること	4
1.3 操作フロー	4
1.4 Ver.1~Ver.3について	5
2. 準備	6
2.1 動作環境の確認	6
2.2 .NET Framework のインストール	6
2.3 受注者向け納品データ作成ツールのインストール	10
3. 操作	12
3.1 ツールの起動	12
3.2 メイン画面操作	16
3.3 写真管理	17
3.3.1 写真管理操作	17
3.3.2 写真の工種ツリー表示	20
3.3.3 写真の閲覧	22
3.3.4 参考図の登録	24
3.3.5 写真の並べ替え	27
3.3.6 間接編集モードで写真の削除及び並べ替えを実施する前の操作	28
3.3.7 ドラッグ&ドロップ操作による写真の並べ替え	29
3.3.8 項目の内容による写真の並べ替え	32
3.3.9 写真データの取込	35
3.4 図面管理	38
3.5 報告書管理、地質データ管理、その他データ管理	41
3.6 データの出力	46
3.6.1 納品データチェック	47
3.6.2 納品データ出力（一括出力）	48
3.6.3 納品データ出力（分割出力）	49
3.6.4 CDラベル印刷用データ出力	50
3.6.5 電子媒体納品書出力	51
3.7 操作案件の切替	52
3.8 設定	53
4. 緯度経度情報の取得	54
5. エラー情報の取得	56

1. 概要

1.1 受注者向け納品データ作成ツールの位置付け

受注者向け納品データ作成ツール（以下、ツール）は、川崎市電子納品要領に準拠した電子納品データの作成を支援するソフトウェアです。

このソフトウェアは下記のアドレスからダウンロードができます。

<https://www.city.kawasaki.jp/jigyou/category/282-4-4-0-0-0-0-0-0.html>

1.2 ツールでできること

ツールでは、以下のことができます。

- ・ 川崎市電子納品要領準拠の納品データ管理情報の作成
- ・ 川崎市電子納品要領準拠の納品データファイル管理
 - 図面（業務、工事）
 - 写真（業務、工事）
 - 地質データ（業務、工事）
 - 報告書（業務）
 - その他データ（工事）
- ・ 作成した納品データのチェック
- ・ ツールで作成した納品データの出力（一括/分割）
- ・ 納品用 CD のラベル作成
- ・ 納品書出力

1.3 操作フロー

本ツールの操作フローを以下にまとめます。

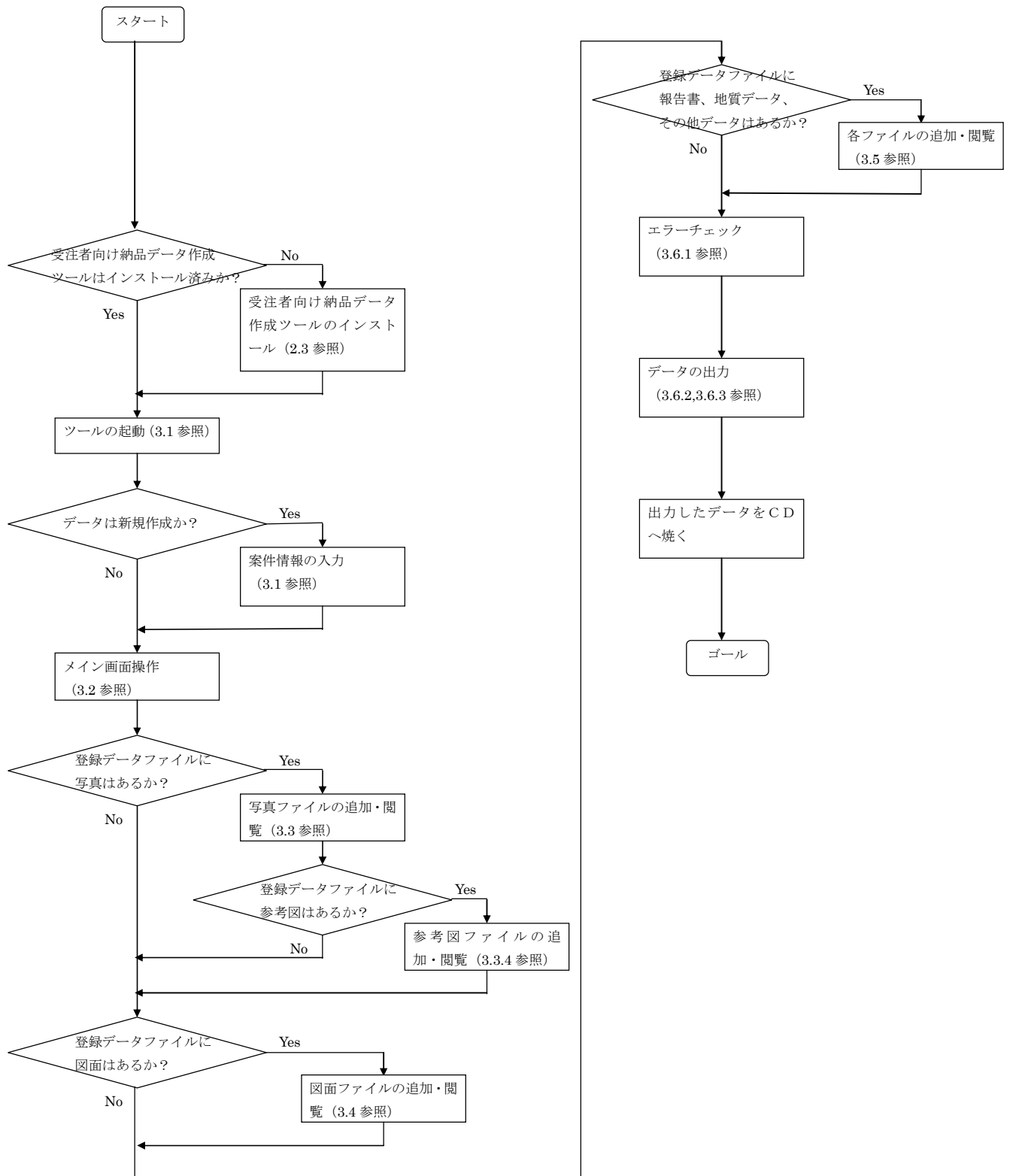


図 1 全体のフロー

1. 4 Ver. 1～Ver. 3 について

2010 年 6 月にリリースされた版 (Ver. 1) は、機能限定版となります。そのため、ツールの利用期間に制限があります。正式版 (Ver. 4 以降) がリリースされているので、そちらを使用するようにしてください。

2. 準備

2.1 動作環境の確認

ツールを動作させるためには、以下のパソコン環境が必要になります。

表 1 動作条件

項目	条件	備考
CPU	Intel Celeron 1.5GHz 以上で 2 コア以上必須	この他帳票を印刷するために、Microsoft Excel が必要です。
メモリ	4GB 以上必須	
ハードディスク	作成する納品データのファイル合計サイズ以上	
OS	Windows11	
モニタ解像度	1024x768 (SXGA) 以上	
ミドルウェア	.NET Framework 4.8 以上	

2.2 .NET Framework のインストール

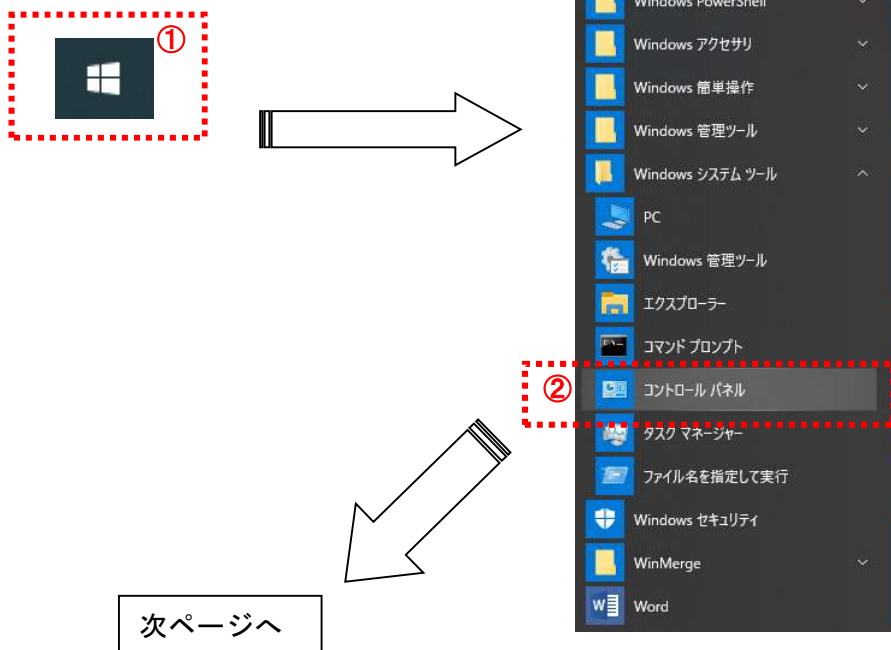
ツールを動作させるためには、パソコンに .NET Framework4.8 がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、各 OS に応じて .NET Framework をインストールしてください。

◆OS が Windows11 である場合

「Windows の機能の有効化または無効化」を用いて端末に .NET Framework をインストールします。

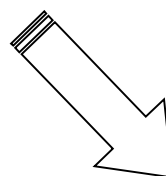
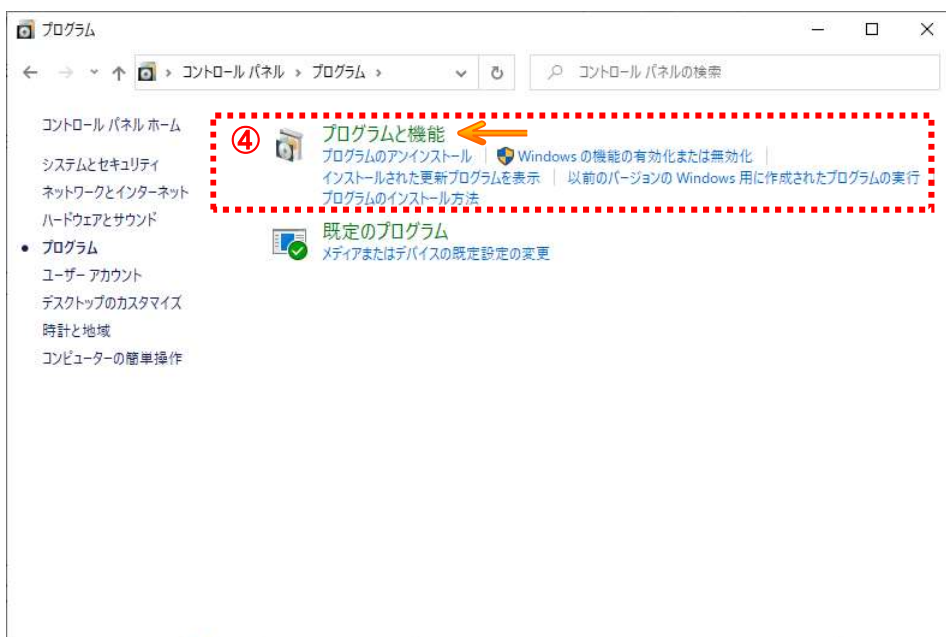
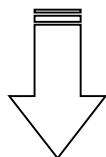
【操作】 .NET Framework をインストールします。

【画面項目説明】



- ① デスクトップ上にある **スタート** アイコンをクリックします。
- ② スタートメニューが表示されたら、Windows システムツールにある **コントロールパネル** をクリックします。

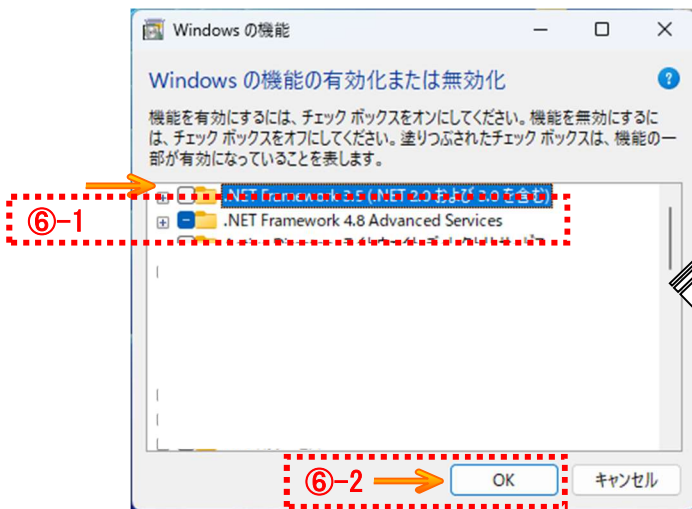
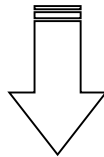
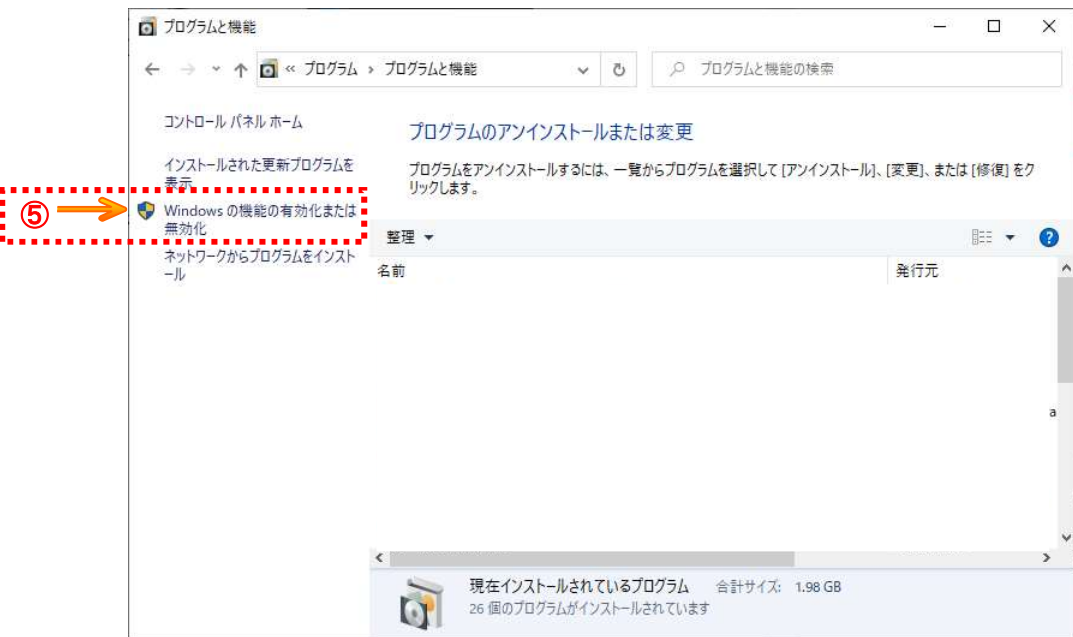
前ページから



次ページへ

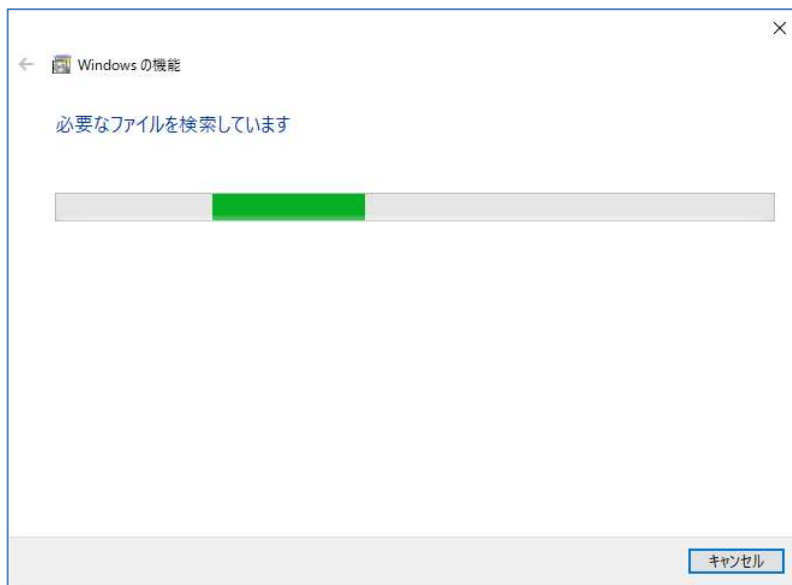
- ③ コントロールパネルが表示されたら、**プログラム**をクリックします。(コントロールパネルの表示方法によっては、**プログラムと機能**が表示される場合があります。そのときは、そのまま次の手順を実施してください。)
- ④ 画面が表示されたら、**プログラムと機能**をクリックします。

前ページから

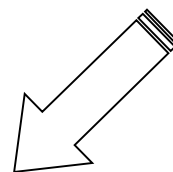
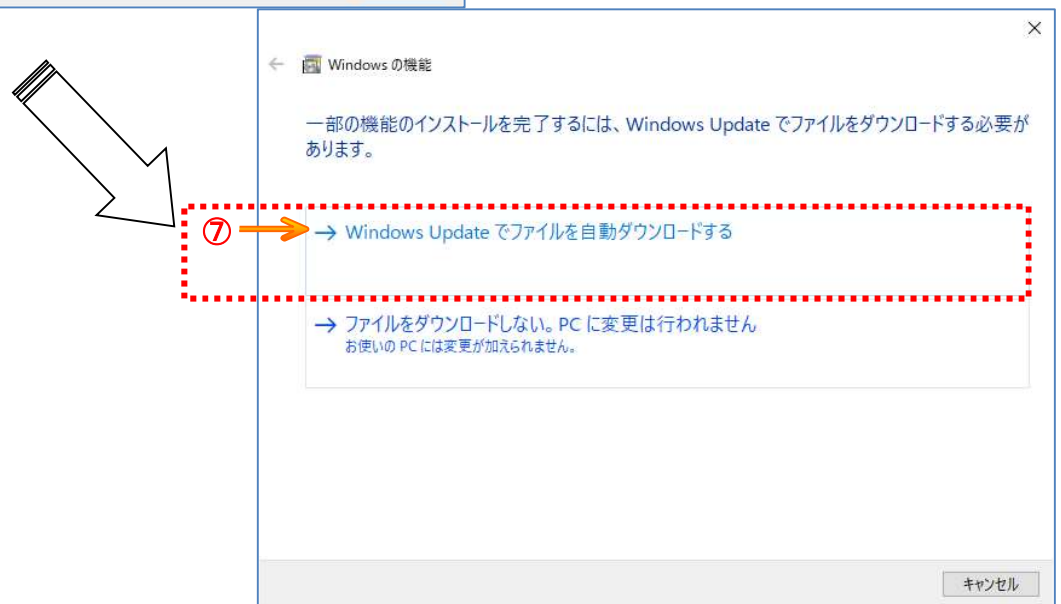
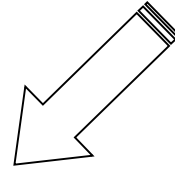


次ページへ

- ⑤ 画面が表示されたら、**Windows の機能の有効化または無効化**をクリックします。
- ⑥ 画面が表示されたら、**.NET Framework 4.8 Advanced Service**にチェックを入れた後、**OK**ボタンを押します。



前ページから



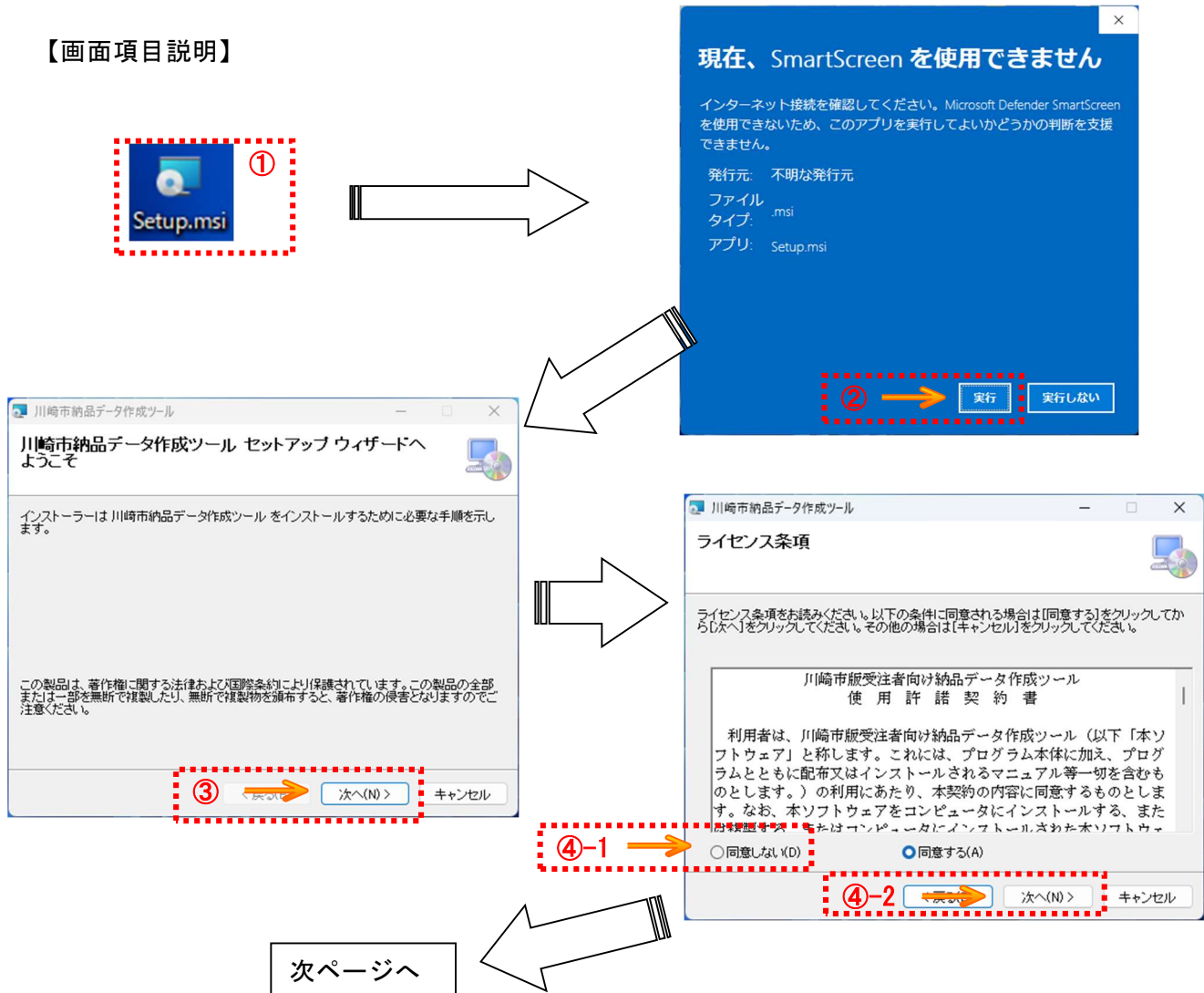
- ⑦ 画面が表示されたら、**Windows Update でファイルを自動ダウンロードする**をクリックします。
- ⑧ インストールが完了したら、**閉じる**ボタンを押します。

2.3 受注者向け納品データ作成ツールのインストール

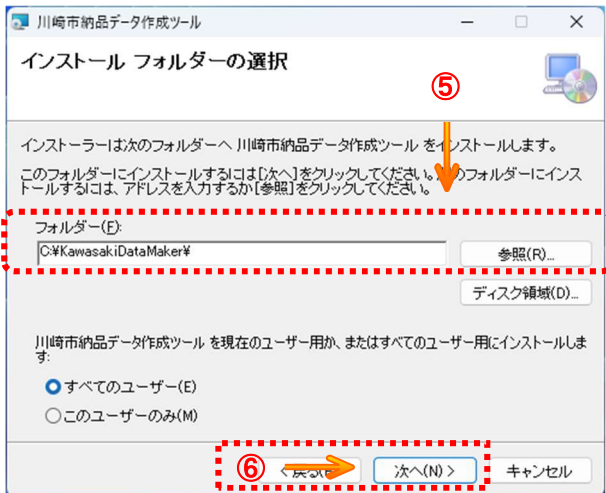
インストーラを用いて端末にツールをインストールします。

【操作】 インストーラを起動します。

【画面項目説明】



- ① インストールファイル (Setup.msi) をダブルクリックします。
- ② 『セキュリティの警告』が表示されたら、**実行**ボタンを押します。
※この画面が表示されない場合があります。そのときは、そのまま次の手順を実施してください。
- ③ 画面が表示されたら、**次へ**ボタンを押します。
- ④ 使用許諾契約書が表示されたら、内容を確認して、同意するにチェックを入れた後、**次へ**ボタンを押します。

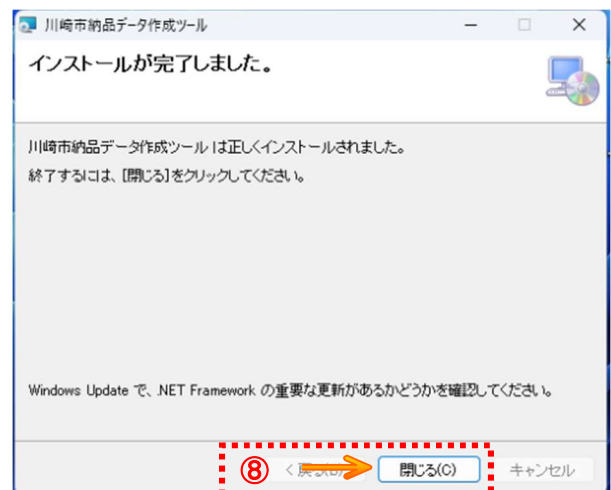
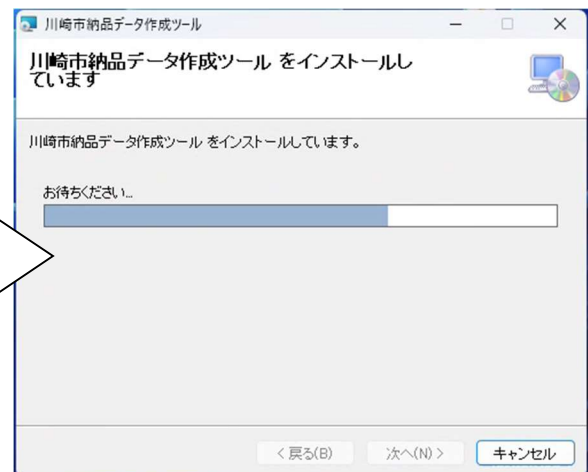
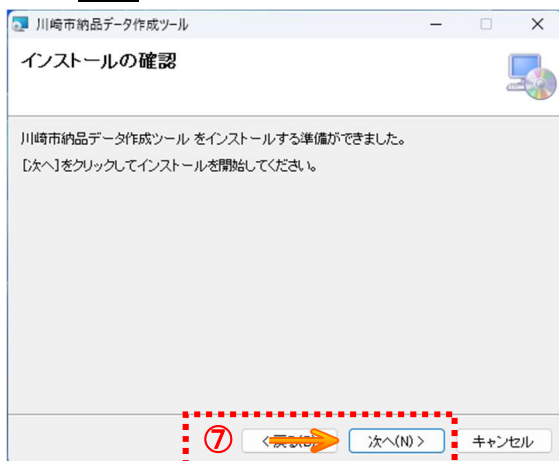


前ページから

- ⑤ ツールをインストールするフォルダを指定します。初期状態では、「C:\KawasakiDataMaker%」にインストールされます。これについては、必要に応じて変更してください。

※問題が無ければ変更不要です。

- ⑥ **次へ** ボタンを押します。



- ⑦ **次へ** ボタンを押します。

- ⑧ インストールが完了したら**閉じる** ボタンを押します。

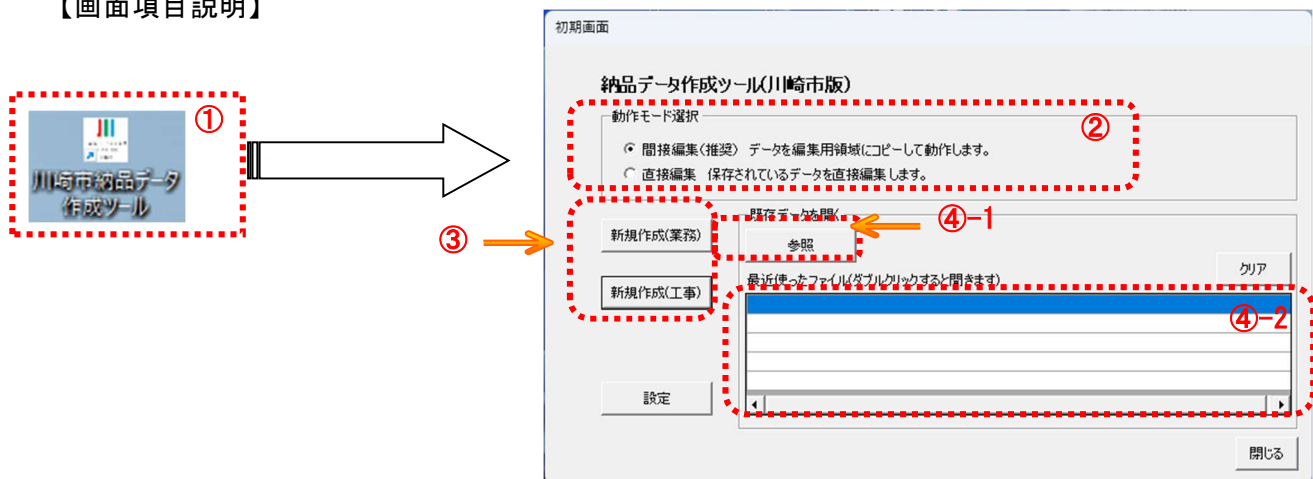
3. 操作

3.1 ツールの起動

ツールの起動方法について説明します。

【操作】 ツールを起動します。

【画面項目説明】



- ① デスクトップ上にある「川崎市納品データ作成ツール」のアイコンをダブルクリックします。
- ② 『初期画面』が表示されたら、動作モードを「間接編集」又は「直接編集」から選択します。初期起動時は、「間接編集（推奨）」が選択されており、こちらの選択を推奨します。
- ③ 動作モードを選択したら、新たに納品データを作成する場合は新規作成ボタンを押します。このとき、作成する納品データが「業務」の場合は新規作成（業務）ボタンを押し、「工事」の場合は新規作成（工事）ボタンを押します。
- ④ 前に作成したデータを編集する場合は参照ボタンを押して、過去に作成したデータの「工事管理.xml」又は「業務管理.xml」ファイルのいずれかを指定します（以降の操作は3.2を参照）。また、最近使ったファイルは「最近使ったファイル」に一覧表示されるので、ファイル名をダブルクリックするとその案件の納品データを操作できるようになります。



【アドバイス】

動作モード選択で選択できるモードは以下の通りです。

間接編集モード（推奨）

データを編集用領域にコピーして動作します。この動作モードだと、一部操作（削除、並び替え）の操作が一時的に制限されますが、プログラムでエラーが発生したときの、編集前データは保護されます。

直接編集モード

保存されているデータを直接編集します。大量のデータがあるときには、間接編集モードと比較して高速に起動しますが、エラー発生時にデータが破損してしまう確率は、間接編集モードと比較して高くなります。

◆ 『業務/工事管理.xml の作成』画面（工事の場合）（必須項目）

- ⑤ 工事/業務名称、契約番号等の各種情報を入力してください。
- ⑥ 初期表示画面では、必須項目のタブが選択されています。任意項目に情報を入力する場合は、「任意項目」のタブを選択して画面を切り替えてください。
- ⑦ 境界座標を入力する際は、54 ページに記載している手順で位置を確認して、緯度経度の度分秒を数値で入力してください。
なお、位置を入力しない場合は、各項目に「99999999」を入力してください。
- ⑧ 情報の入力が完了したら、「登録」ボタンを押してください。

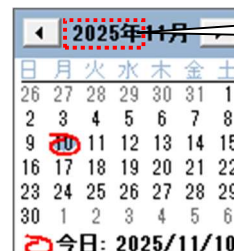


【アドバイス】

日時を指定する項目では、カレンダーから年月日を指定することができます。

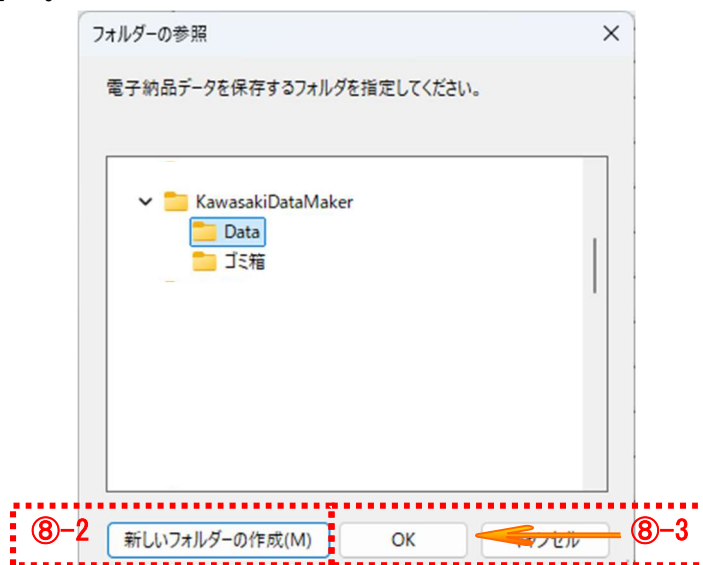
工期開始日 2025年 4月 1日

指定する年月日をクリックしてください。
また、年の箇所（※）をクリックすると
年の切替が出来ます。



◆ 『業務/工事管理.xml の作成』画面（工事の場合）（任意項目）

- ⑧ **登録** ボタンを押すと、フォルダ選択画面が表示されるので、納品データを保管するフォルダを指定します。このとき、指定するフォルダは**新しいフォルダの作成** ボタンを押して、新規にフォルダを作成⇒フォルダ名の入力を行った後、そのフォルダを指定した後、**OK** ボタンを押してください。





【任意項目の入力について】

任意項目は電子納品要領で規定されていない情報を納品データに付与することができます。

内容については、受発注者間で協議して決めた項目・内容にしたがって入力するようにしてください。

3.2 メイン画面操作

ここでは、ツールのメイン画面について説明します。

【操作】 メイン画面を表示します。

【画面項目説明】

◆『メイン』画面

- ① 各ボタンを押す事で、納品データを格納するフォルダを画面表示します。
- ② データ出力ボタンを押すと、データ出力画面が表示されます。その中から操作したい機能を選択します（詳細は3.6を参照）。
- ③ 保存ボタンを押すと、それまでにツールで編集した内容を保存します。
- ④ 初期画面へボタンを押すと、ツールを起動したときの画面を表示します。別案件の納品データを作成、編集する場合に利用します。
- ⑤ バージョン情報ボタンを押すと、利用しているツールのバージョンを表示します。
- ⑥ ゴミ箱ボタンを押すと、削除操作で削除したデータの仮保管場所フォルダを表示します。
- ⑦ 終了ボタンを押すと、ツールを終了します。このとき同時に保存処理についても動作します。



【アドバイス】

ツールを使ってデータを作成しているときは、こまめに保存ボタンを押して、編集内容の保存を行ってください。

3.3 写真管理

3.3.1 写真管理操作

ここでは、写真管理機能の利用手順について説明します。

【操作】 メイン画面で、フォルダー一覧から**写真管理**ボタンを押します。

【画面項目説明】

◆『写真管理』画面

川崎市版受注者向け納品データ作成ツール Ver 7.0.0.0

写真管理

写真管理ファイル | 参考図

写真ファイル追加

代表写真全選択

代表写真全解除

選択写真を表示

代表写真のみに

選択写真を削除

項目毎の並べ替え

写真取込

選択写真チェック

選択	表示	写真ファイル名	写真ファイル日本語名	写真大分類	写真区分	工種	種別	細別	写真タイトル	参考図	撮影箇所	撮影年月日	代表写真
<input checked="" type="checkbox"/>	表示	001001P00...	001P0000001.J...	工...	区分A	工種X			001P0000...	参考図		2006-11-14	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	表示	002P00000...	P0000001.JPG	地...	区分A	工種X			P0000001	参考図		2025-08-07	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	表示	003P00000...	P0000002.JPG	調...	区分A	工種X			P0000002	参考図		2025-08-07	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	表示	004P00000...	P0000003.JPG	測...	区分B				P0000003	参考図		2025-08-07	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	表示	005P00000...	P0000004.JPG	広...	区分B				P0000004	参考図		2025-08-07	<input type="checkbox"/>

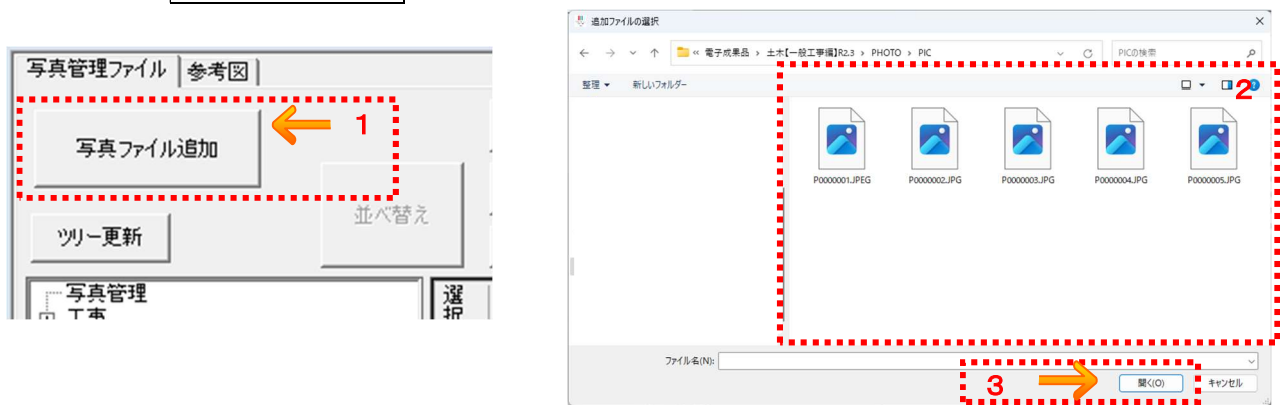
写真管理

工事

①- (イ)

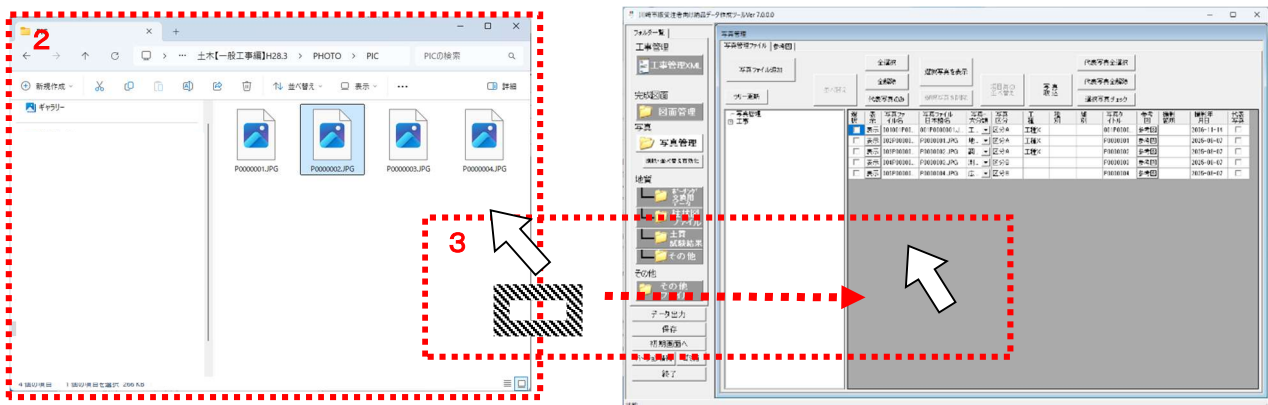
① 写真ファイルを追加する場合は以下のいずれかの手順で追加してください。

(ア) 写真ファイル追加ボタン操作による追加。



1. 写真ファイル追加ボタンを押す。
2. 追加ファイルの選択画面が表示されたら、追加したいファイルを選択する。
3. 開くボタンを押す。

(イ) ドラッグ&ドロップ操作による追加



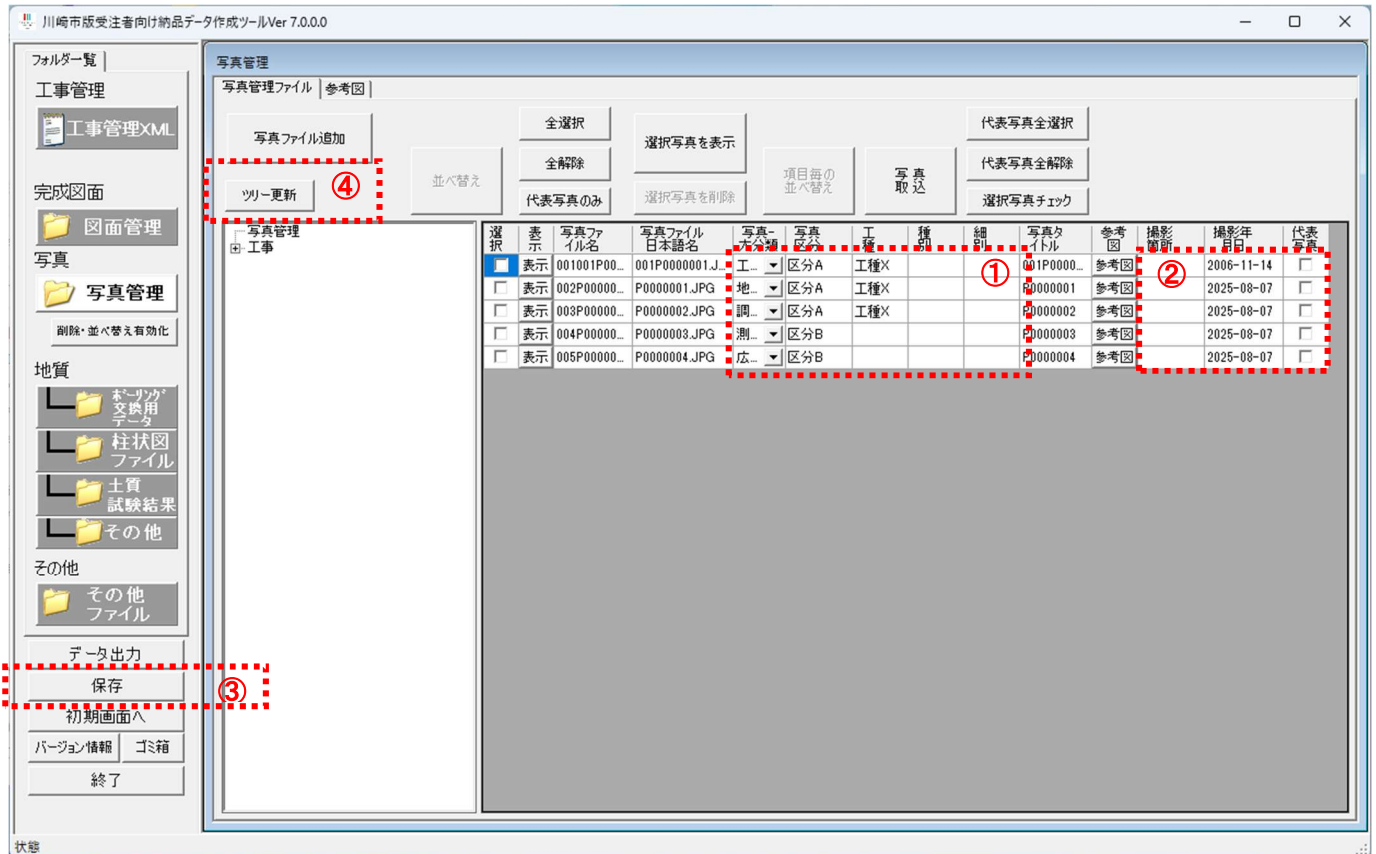
1. 納品データ作成ツールが起動している状態で、エクスプローラを起動する。
2. エクスプローラで、追加したいファイルがあるフォルダを選択する。
3. エクスプローラで追加したいファイルを選択した状態でドラッグ操作をして、納品データ作成ツールのファイル一覧にドロップする。

3.3.2 写真の工種ツリー表示

写真管理では、写真毎に管理情報として分類や区分等の情報を付与できます。ツールでは、これらの情報を使って、写真をツリー表示する事ができます。

【操作】 『写真管理』画面を表示します。

◆『写真管理』画面



① 以下の項目に情報を入力します。

- 写真大分類
- 写真区分
- 工種
- 種別
- 細別

② 必要に応じて、撮影箇所、撮影年月日、代表写真の情報も入力します。

③ ①及び②の入力が終わったら、**保存**ボタンを押します。

④ ツリーの表示を更新するために、**ツリー更新**ボタンを押します。

◆ 『写真管理』画面

写真管理

写真管理ファイル | 参考図 |

写真ファイル追加

ツリー更新

並べ替え

全選択

全解除

代表写真のみ

選択写真を表示

選択写真を削除

項目毎の並べ替え

写真取込

代表写真全選択

代表写真全解除

選択写真子チェック

④-1

選択	表示	写真ファイル名	写真ファイル日本語名	写真大分類	写真区分	工種	種別	細別	写真タイトル	参考図
<input checked="" type="checkbox"/>	表示	001001P00...	001P0000001.J...	工...	区分A	工種X			001P0000...	参考
<input type="checkbox"/>	表示	002P00000...	P0000001.JPG	地...	区分A	工種X			P0000001	参考
<input type="checkbox"/>	表示	003P00000...	P0000002.JPG	調...	区分A	工種X			P0000002	参考
<input type="checkbox"/>	表示	004P00000...	P0000003.JPG	測...	区分B				P0000003	参考
<input type="checkbox"/>	表示	005P00000...	P0000004.JPG	広...	区分B				P0000004	参考

写真管理

写真管理ファイル | 参考図 |

写真ファイル追加

ツリー更新

並べ替え

全選択

全解除

代表写真のみ

選択写真を表示

選択写真を削除

項目毎の並べ替え

写真取込

代表写真全選択

代表写真全解除

選択写真子チェック

④-2

選択	表示	写真ファイル名	写真ファイル日本語名	写真大分類	写真区分	工種	種別	細別	写真タイトル	参考図
<input checked="" type="checkbox"/>	表示	001001P00...	001P0000001.J...	工...	区分A	工種X			001P0000...	参考

ツリーで選択された写真のみが一覧表示

- ⑤ ツリー表示領域に、①で各項目に入力した内容ごとに写真がまとめて分類されます。ここで、ツリーの中のアイテムを選択すると、選択した項目に該当する写真が抽出されて一覧表示されます。

3.3.3 写真の閲覧

ここでは、写真を閲覧する機能について説明します。

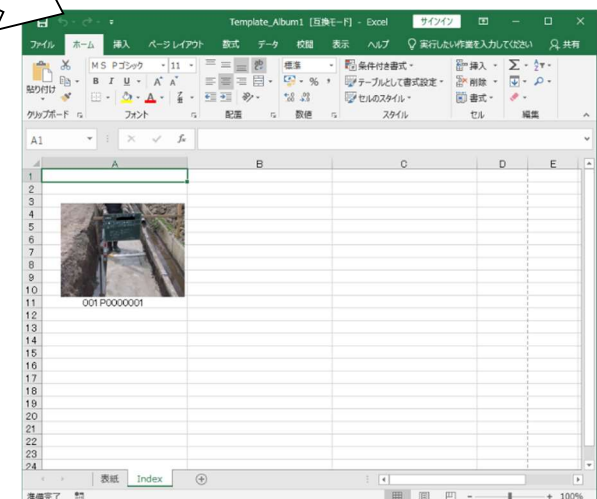
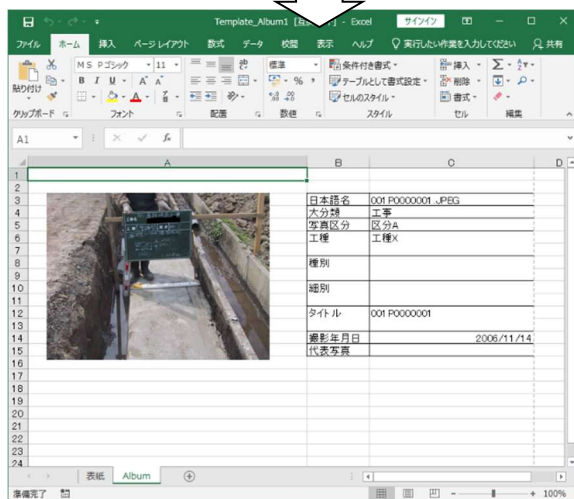
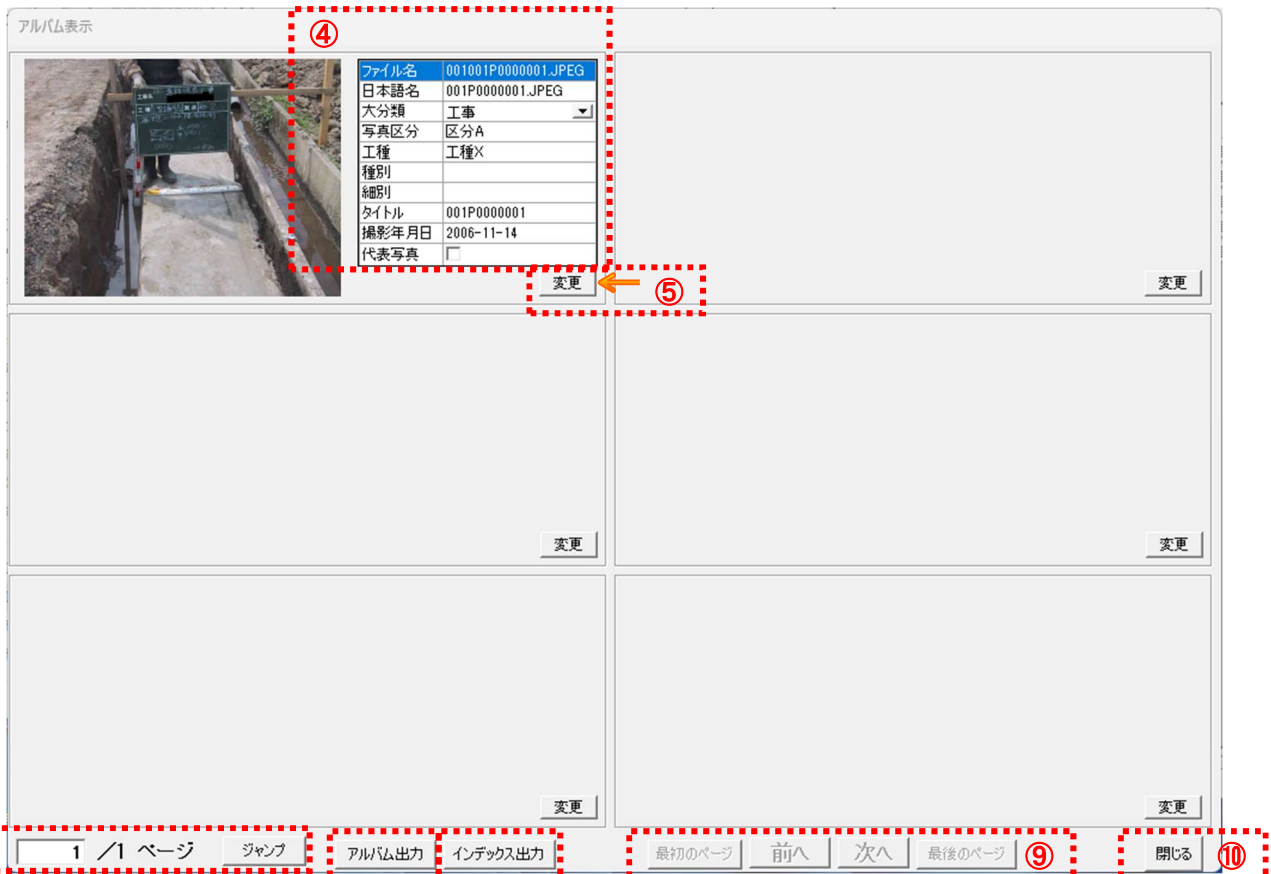
【操作】 『写真管理』画面を表示します。

【画面項目説明】

◆ 『写真管理』画面

選択	表示	写真ファイル名	写真ファイル日本語名	写真区分	写真区分	工種	種別	細別	写真タイトル	参考図	撮影箇所	撮影年月日	代表写真
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	001写真その1.jpg	写真その1.jpg	工事	区分A	工種X			写真その1	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	002写真その2.jpg	写真その2.jpg	地質	区分A	工種X			写真その2	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	003写真その3.jpg	写真その3.jpg	地質	区分A	工種X			写真その3	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	004写真その4.jpg	写真その4.jpg	地質	区分A	工種Y			写真その4	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	005写真その5.jpg	写真その5.jpg	地質	区分A	工種Y			写真その5	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	006写真その6.jpg	写真その6.jpg	地質	区分A				写真その6	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	007写真その7.jpg	写真その7.jpg	地質	区分A				写真その7	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	008写真その8.jpg	写真その8.jpg	地質	区分A				写真その8	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	009写真その9.jpg	写真その9.jpg	測量	区分A				写真その9	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	010写真その10.jpg	写真その10.jpg	測量	区分A				写真その10	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	011写真その11.jpg	写真その11.jpg	工事	区分A				写真その11	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	012写真その12.jpg	写真その12.jpg	工事	区分A				写真その12	参考図		2015-01-05	<input type="checkbox"/>

- ① 閲覧したい写真をチェックボックスで選択します。
- ② **選択写真を表示** ボタンを押します。
- ③ アルバム表示画面が起動して、選択した写真がアルバム形式で閲覧できます。



- ④ 写真毎の各管理項目について内容を編集できます。
- ⑤ 編集完了後は、**変更**ボタンを押すと編集内容が保存されます。
- ⑥ ページが複数ある場合、ページ番号を入力して**ジャンプ**ボタンを押すと、指定したページへジャンプします。
- ⑦ **アルバム出力**ボタンを押すと、Excel ファイルに写真と管理項目をアルバム形式で出力します。
- ⑧ **インデックス出力**ボタンを押すと、Excel ファイルに写真をインデックス形式で出力します。
- ⑨ **最初のページ**、**前へ**、**次へ**、**最後のページ**ボタンを押すと、ページ操作が出来ます。
- ⑩ **閉じる**ボタンを押すと、写真のサムネイル画面を閉じます。

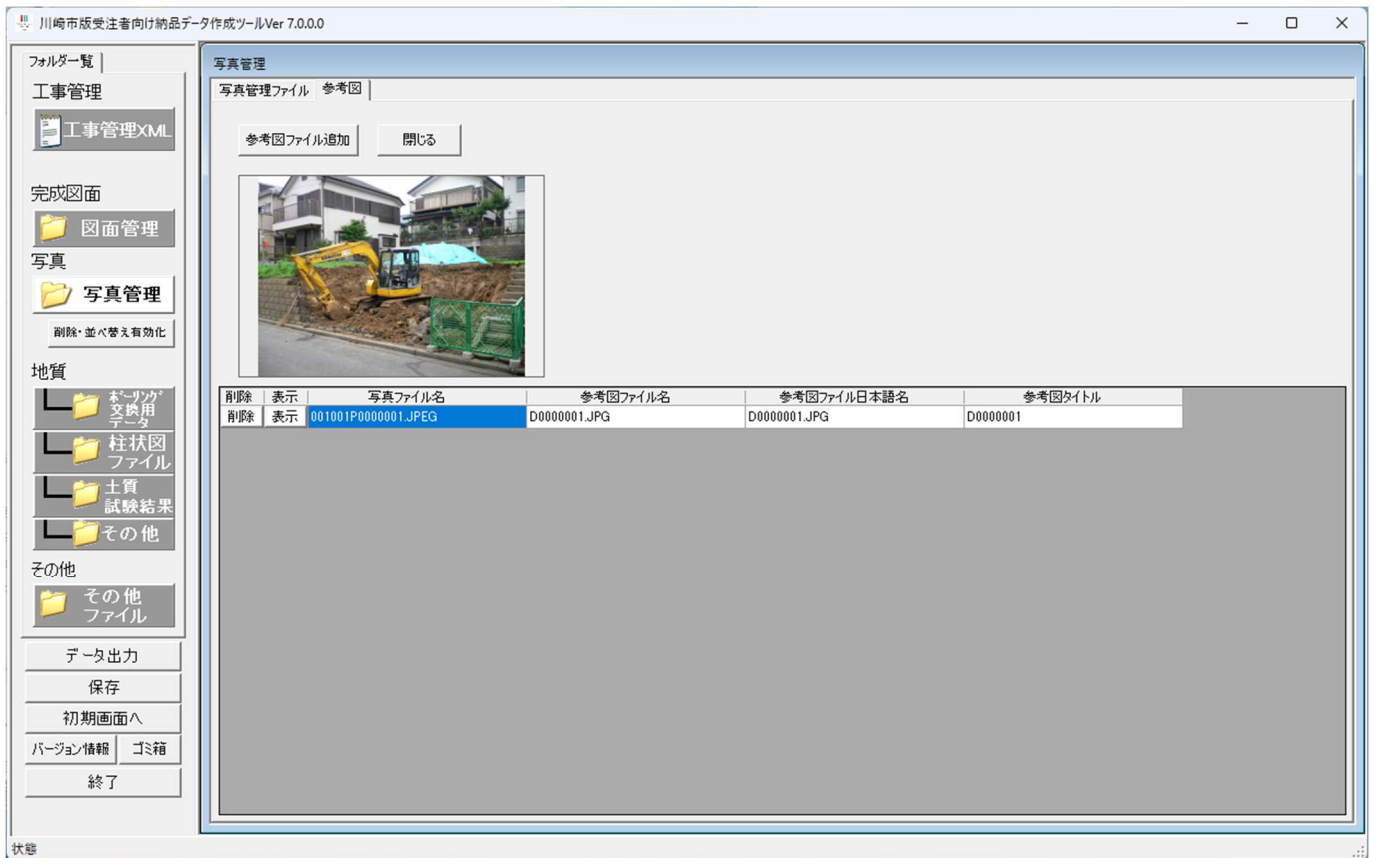
3.3.4 参考図の登録

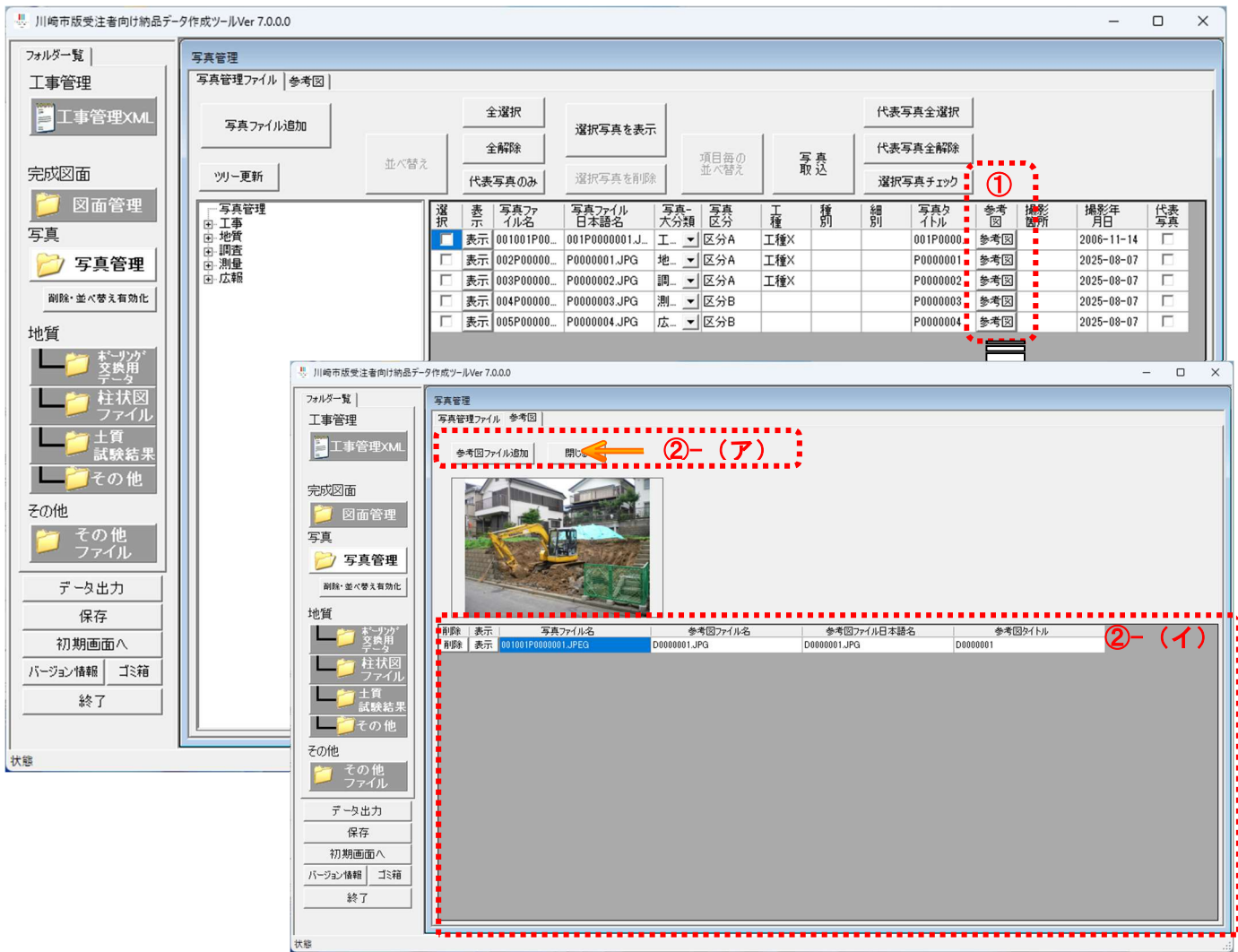
ここでは、写真に参考図を登録する手順について説明します。

【操作】 『写真管理』画面を表示します。

【画面項目説明】

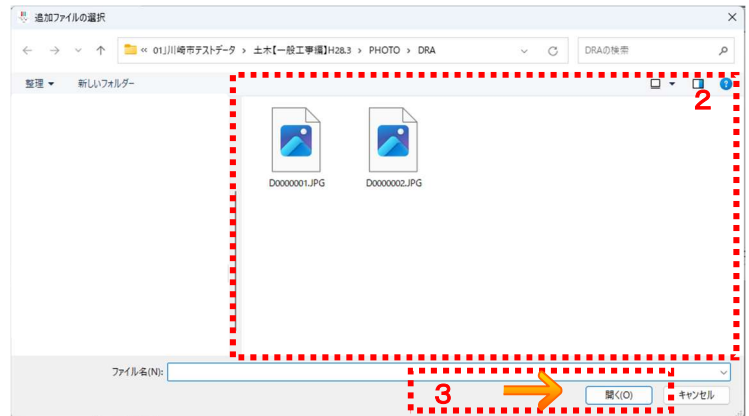
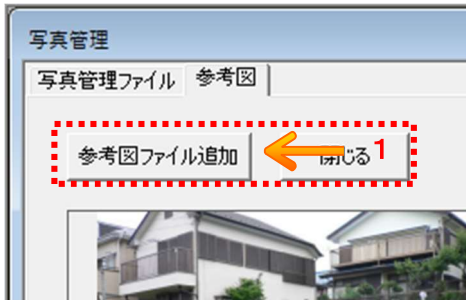
◆ 『写真管理』画面





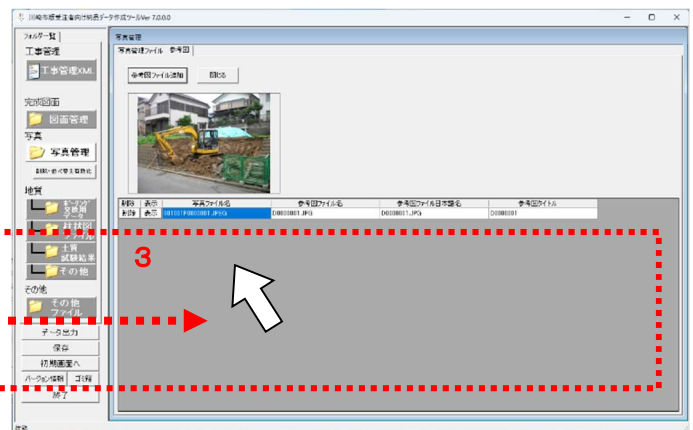
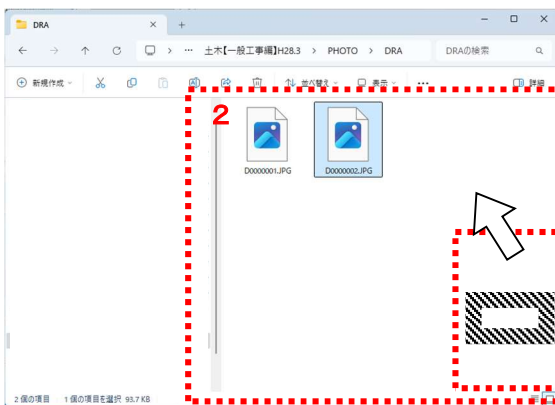
- ① 参考図を登録したい写真の参考図ボタンを押します。
- ② 『参考図』画面が表示されたら、いずれかの手順で追加してください。

(ア) **参考図ファイル追加**ボタン操作による追加。



1. **参考図ファイル追加**ボタンを押す。
2. 追加ファイルの選択画面が表示されたら、追加したいファイルを選択する。
3. **開く**ボタンを押す。

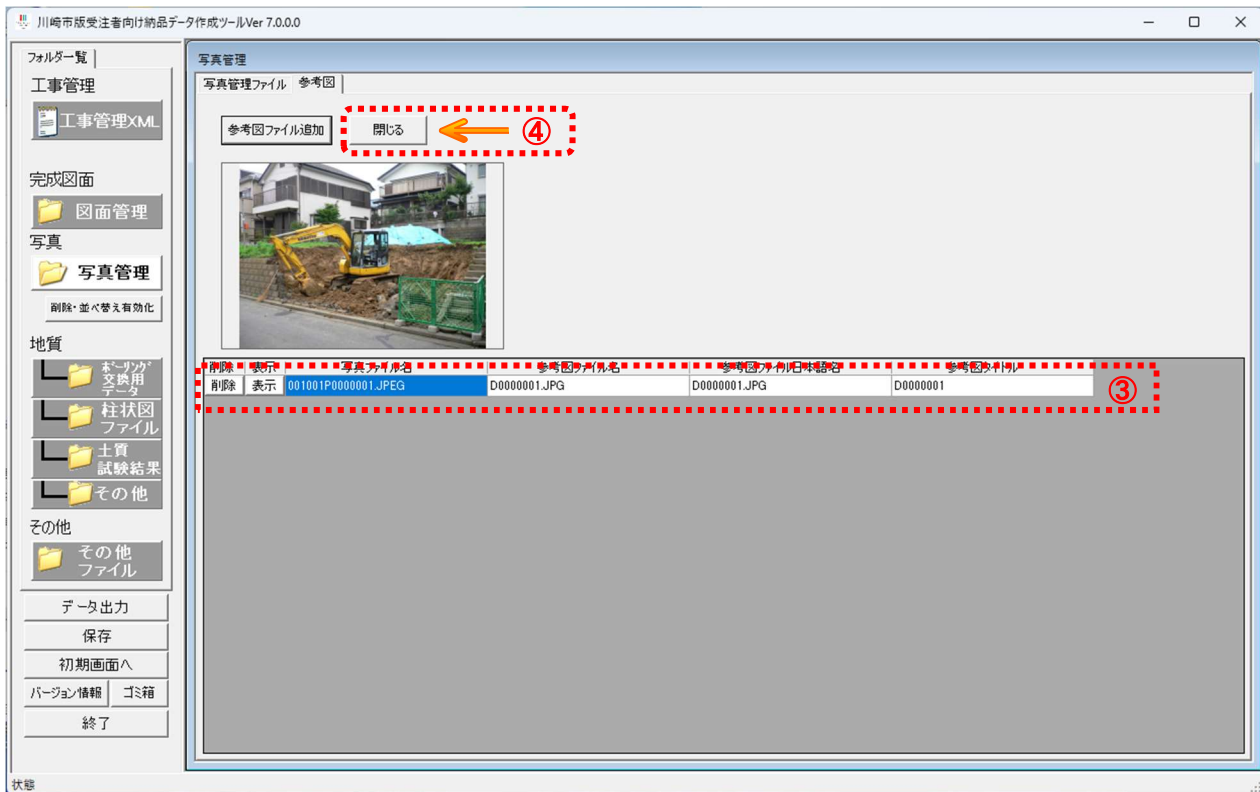
(イ) **ドラッグ&ドロップ**操作による追加



1. 納品データ作成ツールが起動している状態で、エクスプローラを起動する。
2. エクスプローラで、追加したいファイルがあるフォルダを選択する。
3. エクスプローラで追加したいファイルを選択した状態でドラッグ操作をして、納品データ作成ツールのファイル一覧にドロップする。

【画面項目説明】

◆ 『参考図』画面



- ③ ②の操作により追加したファイルが一覧表に表示されるので、必要に応じて内容を編集します。
- ④ 参考図の追加・編集を終了する場合は、閉じるボタンを押します。

3.3.5 写真の並べ替え

ここでは、写真の並べ替え操作に関する手順について説明します。

並べ替えの手順としては、以下の2つの方法があります。

- ・ ドラッグ&ドロップ操作による並び替え
- ・ 項目の内容による並び替え

また、動作モードを「間接編集モード」としていた場合、写真の並び替え操作を行うためには、3.3.6の手順を実施する必要があります。
以降で手順について説明します。

3.3.6 間接編集モードで写真の削除及び並べ替えを実施する前の操作

起動時に動作モードを「間接編集モード」としていた場合、写真の削除及び並び替え操作を行う際は、以下操作を行う必要があります。

【操作】 『写真管理』画面を表示します。

【画面項目説明】

◆ 『写真管理』画面

The screenshot shows the '写真管理' (Photo Management) window. On the left sidebar, the '写真管理' button is highlighted with a red dashed box and labeled '1'. A dialog box titled '並べ替え有効化' (Sort Enabled) is displayed in the center, with its 'OK' button highlighted by a red dashed box and labeled '2'. Below the dialog, the main interface shows the '並べ替え' (Sort) and '項目毎の並べ替え' (Sort by Item) buttons highlighted with red dashed boxes and labeled '3-1' and '3-2' respectively. The table below contains the following data:

選択	表示	写真ファイル名	写真ファイル日本語名	写真大分類	写真区分	工種	種別	細別	写真タイトル	参考図	撮影箇所	撮影年月日	代表写真
<input checked="" type="checkbox"/>	表示	001001P00...	001P0000001.J...	工...	区分A	工種X			001P0000...	参考図		2006-11-14	<input type="checkbox"/>
									P0000001	参考図		2025-08-07	<input type="checkbox"/>
									P0000002	参考図		2025-08-07	<input type="checkbox"/>
									P0000003	参考図		2025-08-07	<input type="checkbox"/>
									P0000004	参考図		2025-08-07	<input type="checkbox"/>

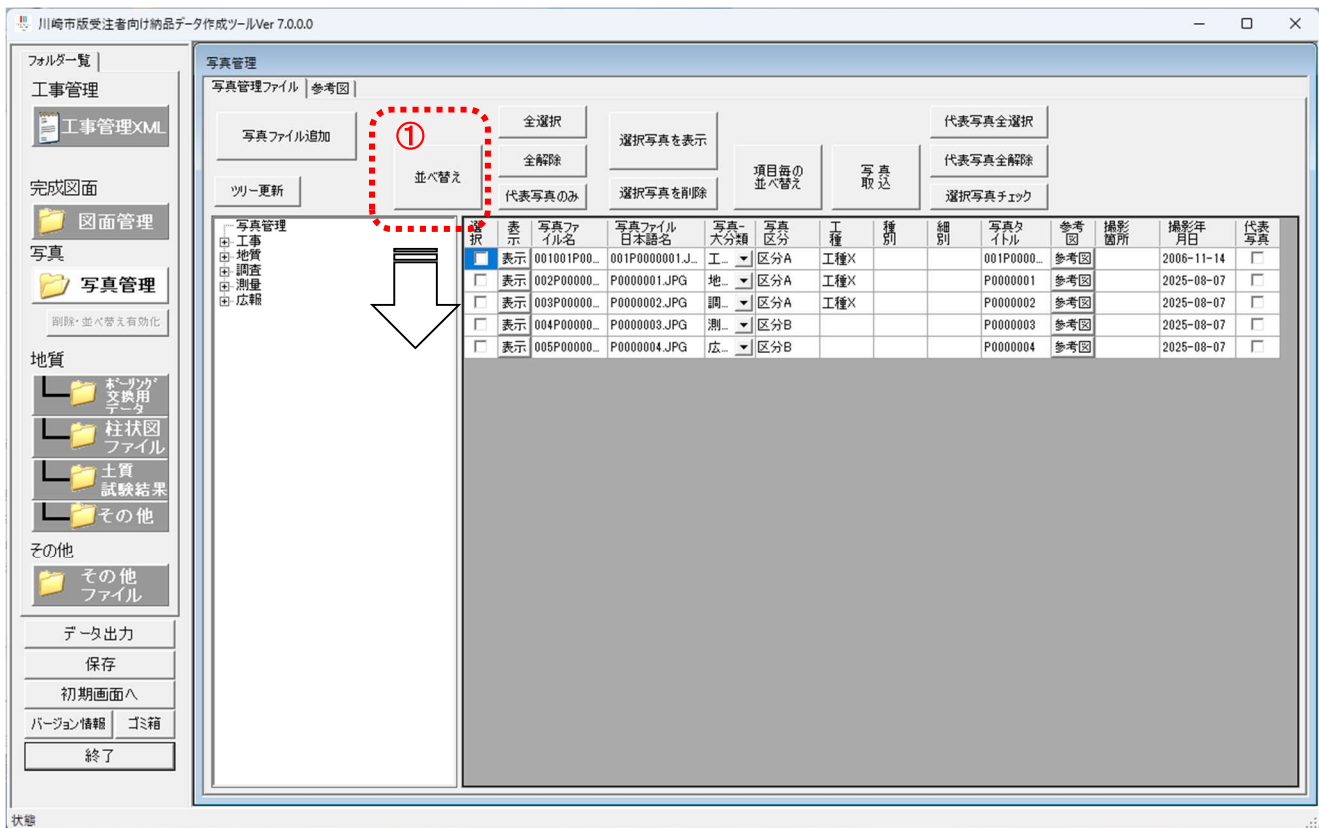
- ① **削除・並べ替え有効化** ボタンを押します。
- ② 動作モード切替に関する確認メッセージが表示されるので、内容を確認し **OK** ボタンを押します。
- ③ **並べ替え** 及び **項目毎の並べ替え** ボタンが押せるようになります。

3.3.7 ドラッグ&ドロップ操作による写真の並べ替え

【操作】 『写真管理』画面を表示します。

【画面項目説明】

◆ 『写真管理』画面



① **並べ替え** ボタンを押します。

【画面項目説明】

◆『写真並べ替え』画面

写真並べ替え

確定 リセット 項目毎の並べ替え 閉じる

② 順番	表示	写真ファイル名	写真ファイル日本語名	写真大分類	写真区分	工種	種別	細別
1	表示	001001P0000001.JPEG	001P0000001.JPEG	工事	区分A	工種X		
2	表示	002P0000001.JPG	P0000001.JPG	地質	区分A	工種X		
3	表示	003P0000002.JPG	P0000002.JPG	調査	区分A	工種X		
4	表示	004P0000003.JPG	P0000003.JPG	測量	区分B			
5	表示	005P0000004.JPG	P0000004.JPG	広報	区分B			

写真並べ替え

④ 確定 リセット 項目毎の並べ替え

③ 順番	表示	写真ファイル名	写真ファイル日本語名	写真大分類	写真区分	工種	種別	細別
1	表示	001001P0000001.JPEG	001P0000001.JPEG	工事	区分A	工種X		
5	表示	005P0000004.JPG	P0000004.JPG	広報	区分B			
2	表示	002P0000001.JPG	P0000001.JPG	地質	区分A	工種X		
3	表示	003P0000002.JPG	P0000002.JPG	調査	区分A	工種X		
4	表示	004P0000003.JPG	P0000003.JPG	測量	区分B			

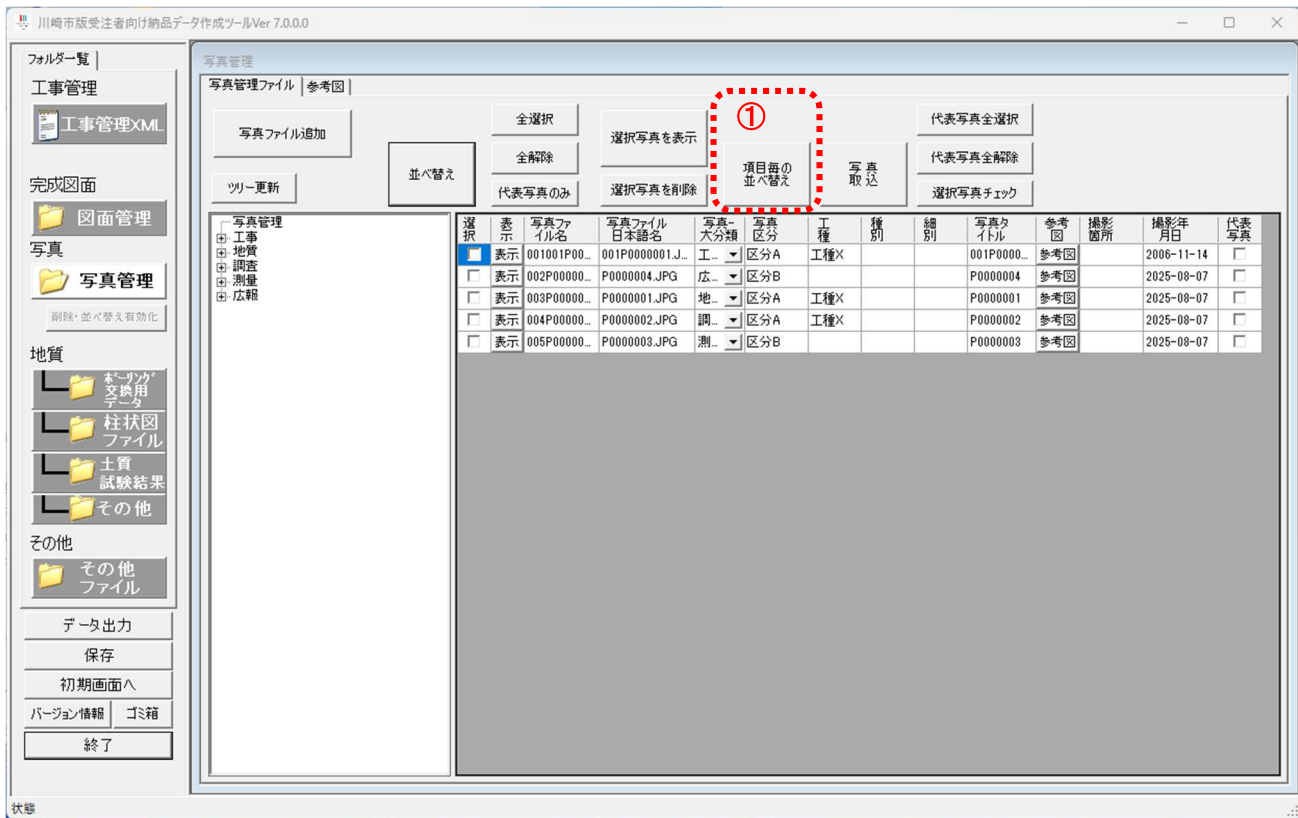
- ② 画面が表示されたら、順番を変更したい写真の行を選択して、そのままドラッグし、挿入したい場所にドロップします。
- ③ 並び順が変わったことを確認します。
- ④ 並び順に問題が無ければ、**確定**ボタンを押します。確認メッセージが表示されるので OK ボタンを押します。

3.3.8 項目の内容による写真の並べ替え

【操作】 『写真管理』画面を表示します。

【画面項目説明】

◆ 『写真管理』画面



① 項目毎の並べ替えボタンを押します。

【画面項目説明】

◆ 『写真管理』画面

項目毎の並び替え

② 最優先される項目
写真-大分類 昇順 降順

2番目に優先される項目
 昇順 降順

3番目に優先される項目
 昇順 降順

4番目に優先される項目
 昇順 降順

③ OK キャンセル

- ② プルダウンから並び替え対象とする項目を選択して、並び順（昇順又は降順）をラジオボタンから選択します。必要に応じて、最大4つまで項目と並び順を指定します。
- ③ **OK** ボタンを押します。

3.3.9 写真データの取込

ここでは、他の納品データ作成ツールで作成した写真データや市販の電子納品作成ソフト等で作成した写真データを取り込む手順について説明します。



【アドバイス】

取込操作が可能な写真データは以下の通りです。

- 川崎市電子納品要領に準拠した写真データ
⇒ 納品データ作成ツールで作成した写真データ
- 国土交通省の電子納品要領に準拠した写真データ
⇒ 市販の電子納品作成ソフトで作成した写真データ

上記以外のデータについては取込操作は出来ません。

(例)

- ・ 川崎市、国土交通省以外の電子納品要領準拠写真データ
- ・ 写真以外のデータ

【操作】 『写真管理』画面を表示します。

【画面項目説明】

◆ 『写真管理』画面



① 写真取込ボタンを押します。

【画面項目説明】

◆ 『写真管理』画面

写真取込

◎*電子成果品#01|川崎市テストデータ|工事編K2016-44写真*写真管理.xml

参照 実行

シリアル番号	写真ファイル名	写真ファイル日本語名	写真大分類	写真区分	工種	種別	細別	写真タイトル	撮影年月日
6	01○写真その1.JPG	写真の内容詳細その1	工事	着手前及び完成写真				写真その1	2002-01-01
7	02○写真その2.JPG	写真の内容詳細その2	工事	災害写真				写真その2	2002-01-01
8	03○写真その3.JPG	写真の内容詳細その3	工事	着手前及び完成写真				写真その3	2002-01-01
9	04○写真その4.JPG	写真の内容詳細その4	工事	着手前及び完成写真				写真その4	2002-01-01
10	05○写真その5.JPG	写真の内容詳細その5	工事	着手前及び完成写真				写真その5	2002-01-01
11	06○写真その6.JPG	写真の内容詳細その6	工事	着手前及び完成写真				写真その6	2002-01-01
12	07○写真その7.JPG	写真の内容詳細その7	工事	着手前及び完成写真				写真その7	2002-01-01
13	08○写真その8.JPG	写真の内容詳細その8	工事	着手前及び完成写真	工種1	種別1	細別1	写真その8	2002-01-01
14	09○写真その9.JPG	写真の内容詳細その9	工事	品質管理写真	全般			写真その9	2002-01-01
15	10○写真その10.JPG	写真の内容詳細その10	工事	着手前及び完成写真				写真その10	2002-01-01

取込 閉じる

- ② **参照** ボタンを押して取り込む写真の「写真管理.xml」又は「PHOTO.xml」を指定して開きます。
- ③ **実行** ボタンを押します。
- ④ 「写真管理.xml」又は「PHOTO.xml」に記載されているデータを読み込んだ結果が、一覧に表示されるので、内容を確認します。
- ⑤ 内容に問題がなければ、**取込** ボタンを押します。

【画面項目説明】

◆ 『写真管理』画面

川崎市版受注者向け納品データ作成ツールVer 7.0.0.0

写真管理

写真管理ファイル | 参考図

写真ファイル追加

全選択

選択写真を表示

代表写真全選択

全解除

代表写真全解除

並べ替え

項目毎の並べ替え

写真取込

選択写真チェック

代表写真のみ

選択写真を削除

ツリー更新

写真管理

写真管理XML

完成図面

図面管理

写真

写真管理

削除・並べ替え有効化

地質

ボリカ交換用データ

柱状図ファイル

土質試験結果

その他

その他ファイル

データ出力

保存

初期画面へ

バージョン情報

ゴミ箱

終了

表示	写真ファイル名	写真ファイル日本語名	写真-大分類	写真-区分	工種	種別	細別	写真タイトル	参考図	撮影箇所	撮影年月日
<input checked="" type="checkbox"/>	表示 001001P0000001.JPG	001P0000001.J...	工	区分A	工種X			001P0000...	参考図		2006-11-14
<input type="checkbox"/>	表示 002P0000004.JPG	P0000004.JPG	広	区分B				P0000004	参考図		2025-08-07
<input type="checkbox"/>	表示 003P0000003.JPG	P0000003.JPG	測	区分B				P0000003	参考図		2025-08-07
<input type="checkbox"/>	表示 004P0000001.JPG	P0000001.JPG	地	区分A	工種X			P0000001	参考図		2025-08-07
<input type="checkbox"/>	表示 005P0000002.JPG	P0000002.JPG	調	区分A	工種X			P0000002	参考図		2025-08-07
<input type="checkbox"/>	表示 006写真その1.JPG	写真の内容詳...	工	着手前及...				写真その1	参考図		2002-01-01
<input type="checkbox"/>	表示 007写真その2.JPG	写真の内容詳...	工	災害写真				写真その2	参考図		2002-01-01
<input type="checkbox"/>	表示 008写真その3.JPG	写真の内容詳...	工	着手前及...				写真その3	参考図		2002-01-01
<input type="checkbox"/>	表示 009写真その4.JPG	写真の内容詳...	工	着手前及...				写真その4	参考図		2002-01-01
<input type="checkbox"/>	表示 010写真その5.JPG	写真の内容詳...	工	着手前及...				写真その5	参考図		2002-01-01
<input type="checkbox"/>	表示 011写真その6.JPG	写真の内容詳...	工	着手前及...				写真その6	参考図		2002-01-01
<input type="checkbox"/>	表示 012写真その7.JPG	写真の内容詳...	工	着手前及...				写真その7	参考図		2002-01-01
<input type="checkbox"/>	表示 013写真その8.JPG	写真の内容詳...	工	着手前及...	工種1	種別1	細別1	写真その8	参考図		2002-01-01
<input type="checkbox"/>	表示 014写真その9.JPG	写真の内容詳...	工	品質管理	全般			写真その9	参考図		2002-01-01
<input type="checkbox"/>	表示 015写真その10.JPG	写真の内容詳...	工	着手前及...				写真その10	参考図		2002-01-01

状態

⑥ 写真が取り込まれて、一覧に表示されます。

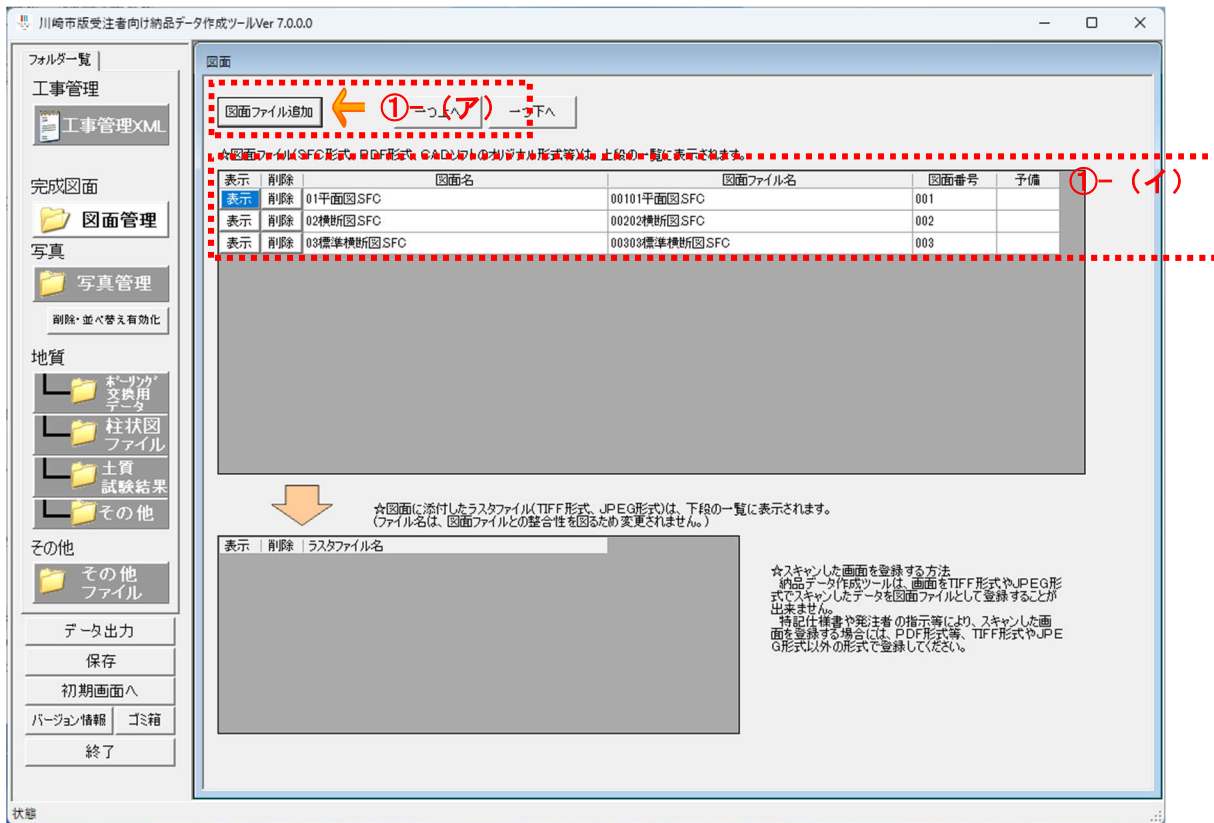
3.4 図面管理

ここでは、図面管理機能の利用手順について説明します。

【操作】 メイン画面で、**図面管理**ボタンを押します。

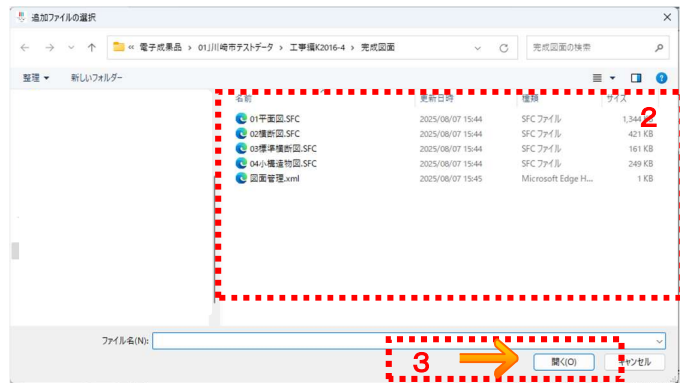
【画面項目説明】

◆ 『図面管理』画面



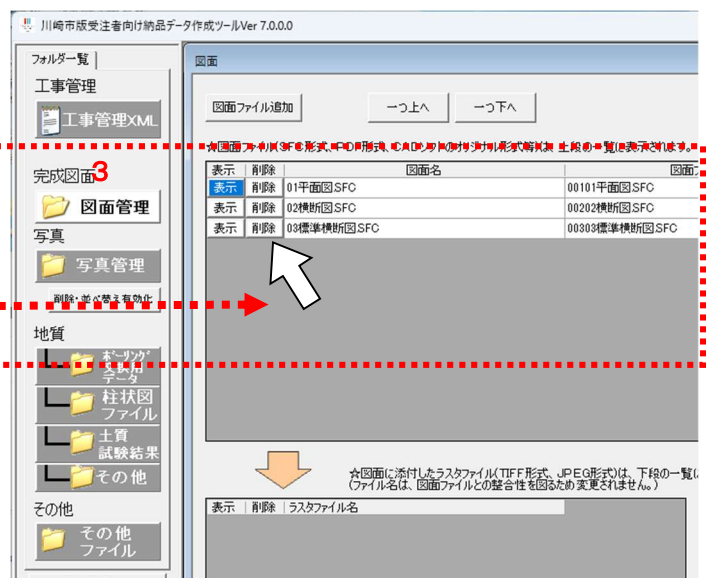
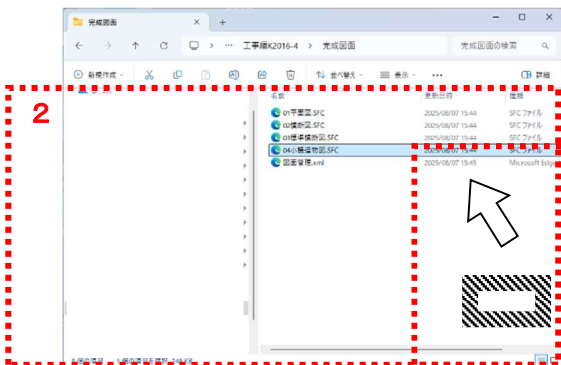
- ① 図面ファイル及び図面に付随するラスタファイルを追加する場合は以下のいずれかの手順で追加してください。

(ア) **参考図ファイル追加**ボタン操作による追加。



1. **図面ファイル追加**ボタンを押す。
2. 追加ファイルの選択画面が表示されたら、追加したいファイルを選択する。
3. **開く**ボタンを押す。

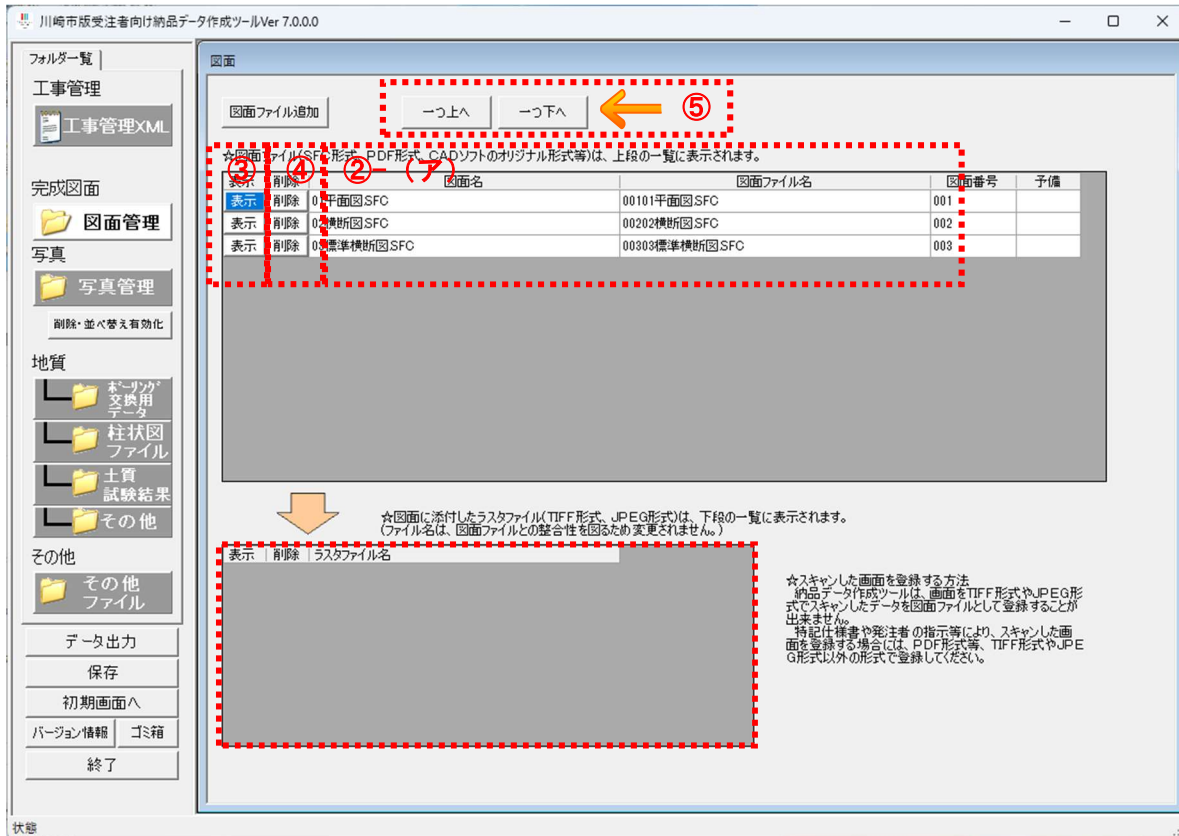
(イ) **ドラッグ&ドロップ**操作による追加



1. 納品データ作成ツールが起動している状態で、エクスプローラを起動する。
2. エクスプローラで、追加したいファイルがあるフォルダを選択する。
3. エクスプローラで追加したいファイルを、選択した状態でドラッグ操作をして、納品データ作成ツールのファイル一覧にドロップする。

【画面項目説明】

◆『図面管理』画面



- ② ①の操作により、ファイル形式により以下のような動作になります。追加したファイルが一覧表に表示されるので、図面名等を一覧表の中に入力してください。
 - (ア) 登録したファイルが JPG, TIFF 形式以外の場合
⇒図面として認識され、画面上段の図面ファイル一覧にファイルが追加されます。一覧に図面名等必要に応じて編集してください。
 - (イ) 登録したファイルが JPG, TIFF 形式の場合
⇒ラスタファイルとして認識され、画面下段の一覧にファイルが追加されます。
- ③ 登録した図面を閲覧する場合は、**表示**ボタンを押します。
- ④ 登録した図面を削除する場合は、**削除**ボタンを押します。
- ⑤ 図面ファイルの並び替えを行う場合は、図面ファイル一覧からファイルを選択した後、**一つ上へ**または**一つ下へ**ボタンを押します。この操作により、選択したファイルが移動して順番が入れ替わります。



【アドバイス】

並び替え操作ができるのは図面ファイルのみです。
ラスタファイルは並び替えの対象にはなりません。

3.5 報告書管理、地質データ管理、その他データ管理

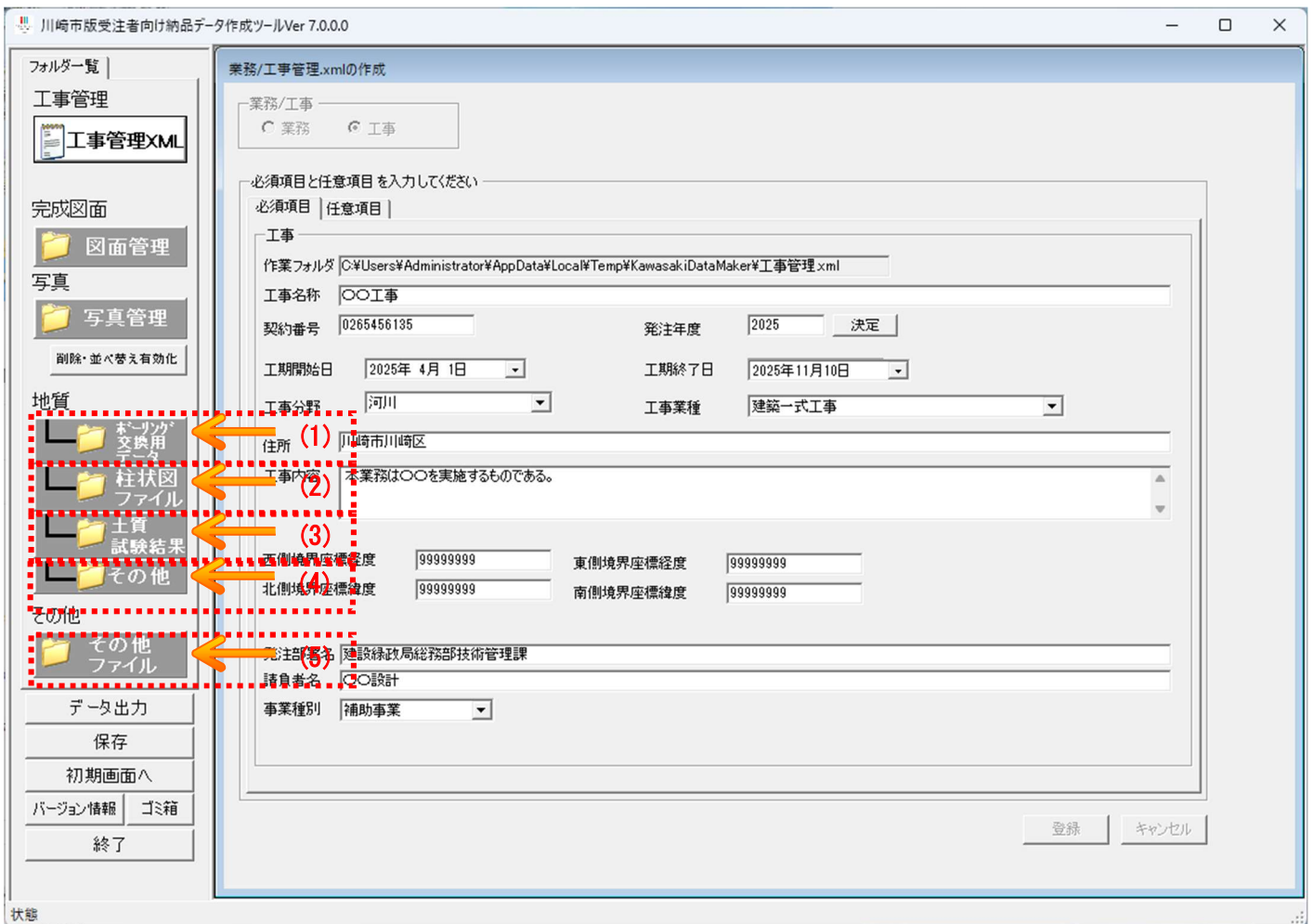
ここでは、各種ファイル管理機能の利用手順について説明します。

【操作】 メイン画面で以下ボタンを押します。

- ・ 地質/ボーリング交換用データの場合⇒**ボーリング交換用データ**ボタンを押す…(1)
- ・ 地質/柱状図の場合⇒**柱状図ファイル**ボタンを押す…(2)
- ・ 地質/土質試験結果の場合⇒**土質試験結果**ボタンを押す…(3)
- ・ 地質/その他の場合⇒**その他**ボタンを押す…(4)
- ・ その他ファイルの場合⇒**その他ファイル**ボタンを押す…(5)
- ・ 報告書の場合⇒**報告書**ボタンを押す…(6)
- ・ 報告書元データの場合⇒**報告書元データ**ボタンを押す…(7)

【画面項目説明】

◆ 『メイン』画面（工事の場合）



【画面項目説明】

◆ 『メイン』画面（業務の場合）

川崎市版受注者向け納品データ作成ツールVer 7.0.0.0

業務/工事管理.xmlの作成

業務/工事
 業務 工事

必須項目と任意項目を入力してください
必須項目 | 任意項目

業務名
C:\Users\Administrator\AppData\Local\Temp\KawasakiDataMaker\業務管理.xml

契約番号 0314354231

履行期間-着手 2025年 4月 1日 履行期間-完了 2025年 11月 10日

主な業務の内容 1調査設計 業務分野コード 0200000:港湾及び空港

住所 川崎市川崎区

業務概要 本業務は○○を実施するものである。

西側境界座標経度 99999999 東側境界座標経度 99999999
北側境界座標緯度 99999999 南側境界座標緯度 99999999

発注部署名 建設緑政局総務部技術管理課

受注者名 ○○設計

事業種別 補助事業

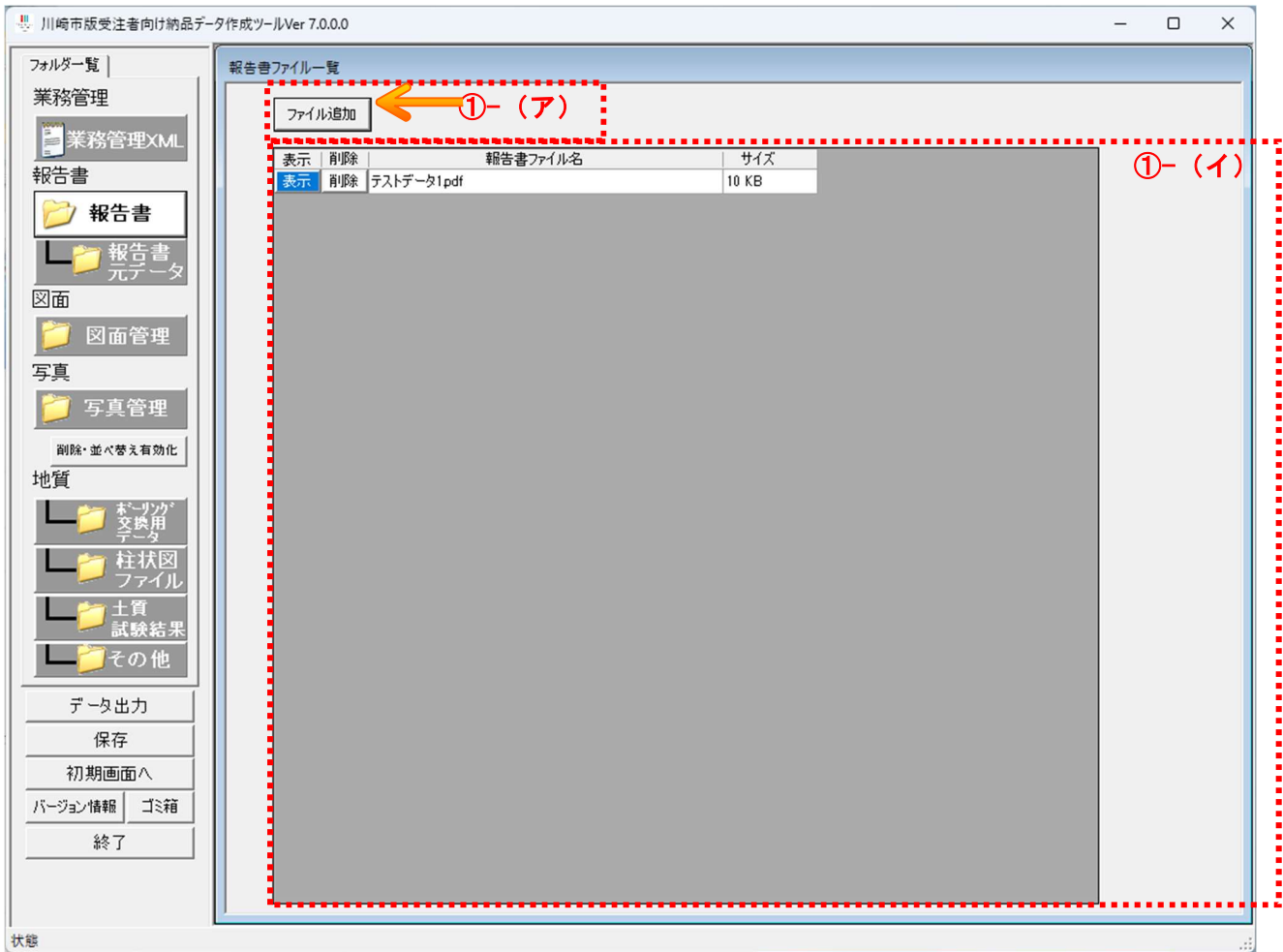
登録 キャンセル

フォルダー一覧 | 業務管理 | 業務管理XML | 報告書 | 報告書 | 報告書元データ | 図面 | 図面管理 | 写真 | 写真管理 | 削除・並べ替え有効化 | 地質 | ホールنگ交換用データ | 柱状図ファイル | 土質試験結果 | その他 | データ出力 | 保存 | 初期画面へ | バージョン情報 | ゴミ箱 | 終了

状態

【画面項目説明】

◆各画面共通



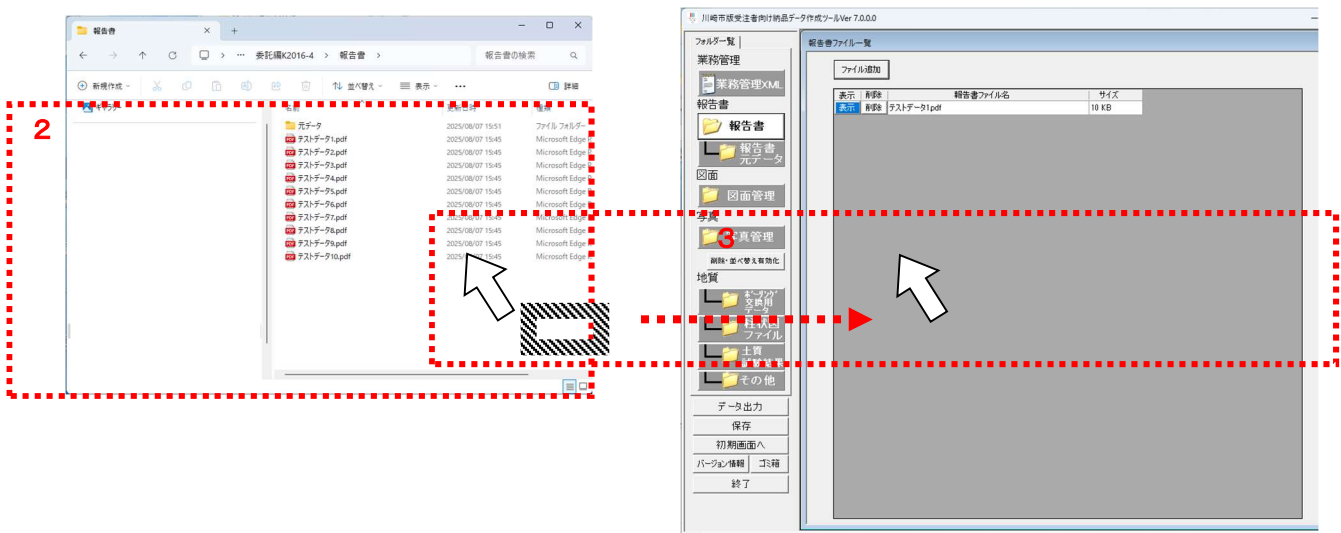
① ファイルを追加する場合は以下のいずれかの手順で追加してください。

(ア) **ファイル追加**ボタン操作による追加。



1. **ファイル追加**ボタンを押す。
2. 追加ファイルの選択画面が表示されたら、追加したいファイルを選択する。
3. **開く**ボタンを押す。

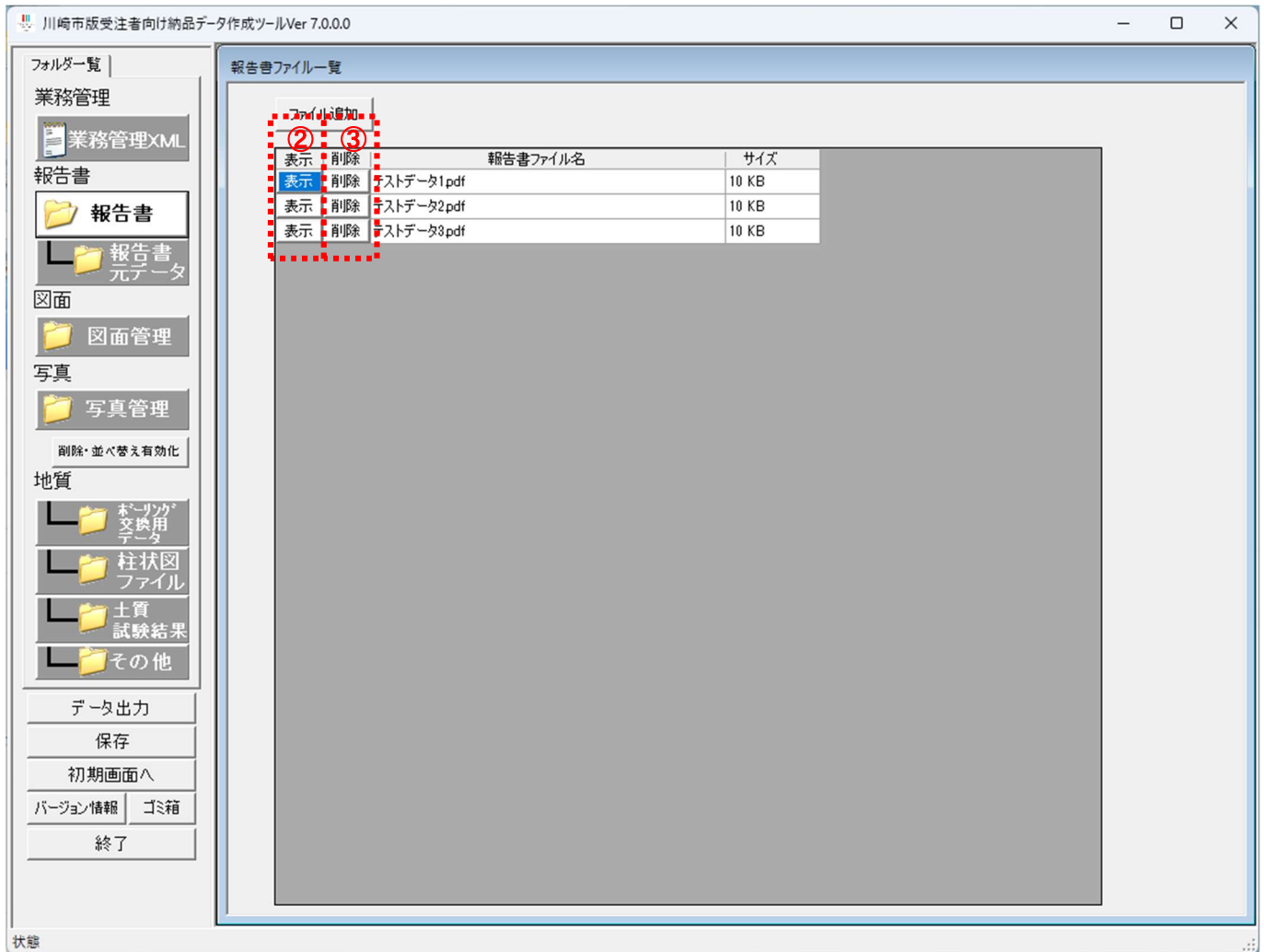
(イ) **ドラッグ&ドロップ**操作による追加



1. 納品データ作成ツールが起動している状態で、エクスプローラを起動する。
2. エクスプローラで、追加したいファイルがあるフォルダを選択する。
3. エクスプローラで追加したいファイルを、選択した状態でドラッグ操作をして、納品データ作成ツールのファイル一覧にドロップする。

【画面項目説明】

◆各画面共通



- ② 登録したファイルを開覧する場合は、**表示**ボタンを押します。
- ③ 登録したファイルを削除する場合は、**削除**ボタンを押します。

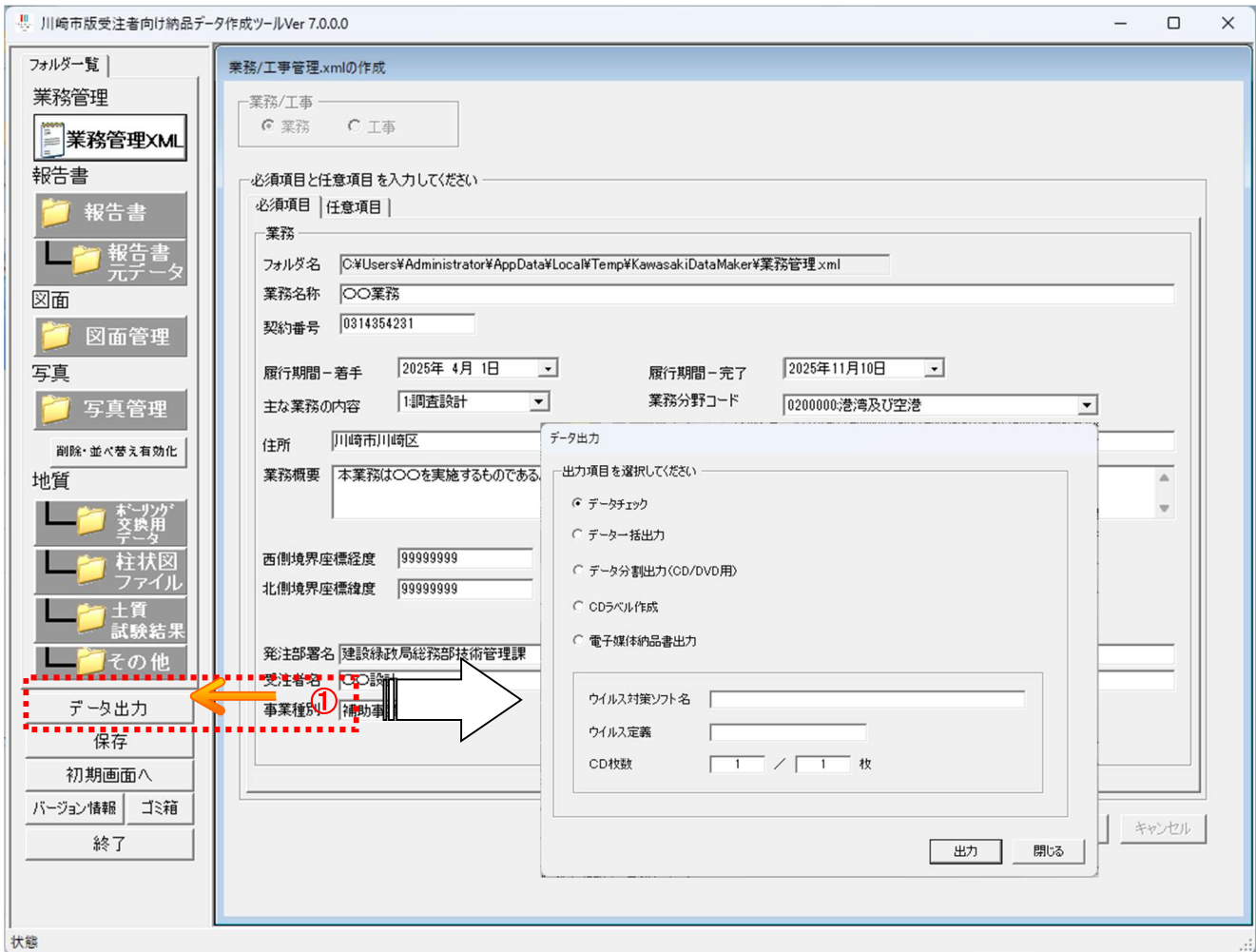
3.6 データの出力

ここでは、納品データ作成ツールで作成したデータを出力する方法について説明します。

【操作】 メイン画面で「データ出力」ボタンを押します。

【画面項目説明】

◆『メイン』画面



- ① 「データ出力」ボタンを押します。
- ② 出力項目選択画面が表示されるので、以降で説明する操作を実施してください。

3.6.1 納品データチェック

ここでは、作成した納品データに対してエラーチェックを実施する方法について説明します。

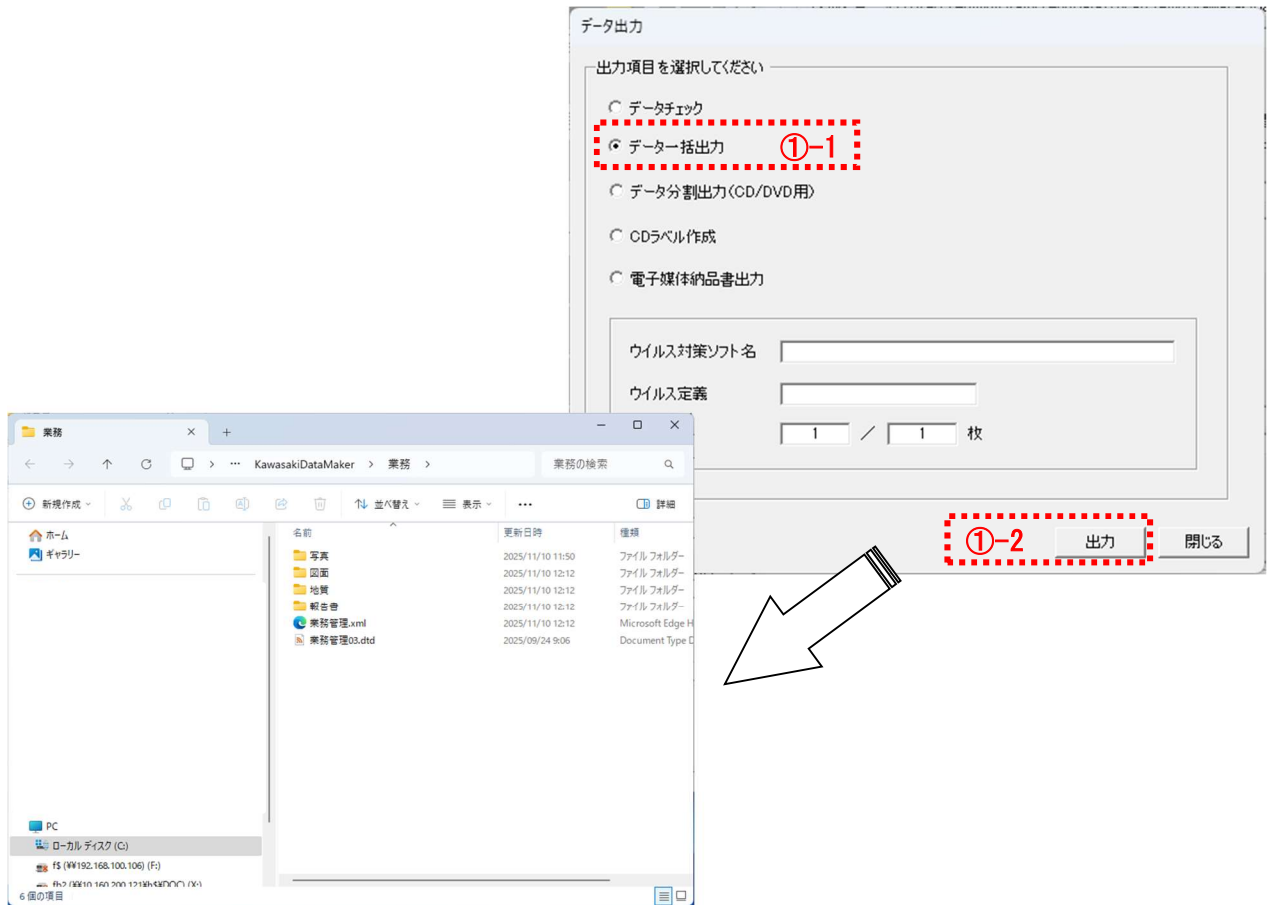
コード	内容
DX101	契約番号は10文字固定です。

No.	エラーコード	内容
1	DX101	契約番号は10文字固定です。

- ① **データチェック**のラジオボタンを選択した後、**出力**ボタンを押します。
- ② チェック結果でエラーがあった場合、内容が画面に表示されるので、データの修正を実施してください。
- ③ **結果出力**ボタンを押すと、チェック結果を Excel ファイルに出力できます。

3.6.2 納品データ出力（一括出力）

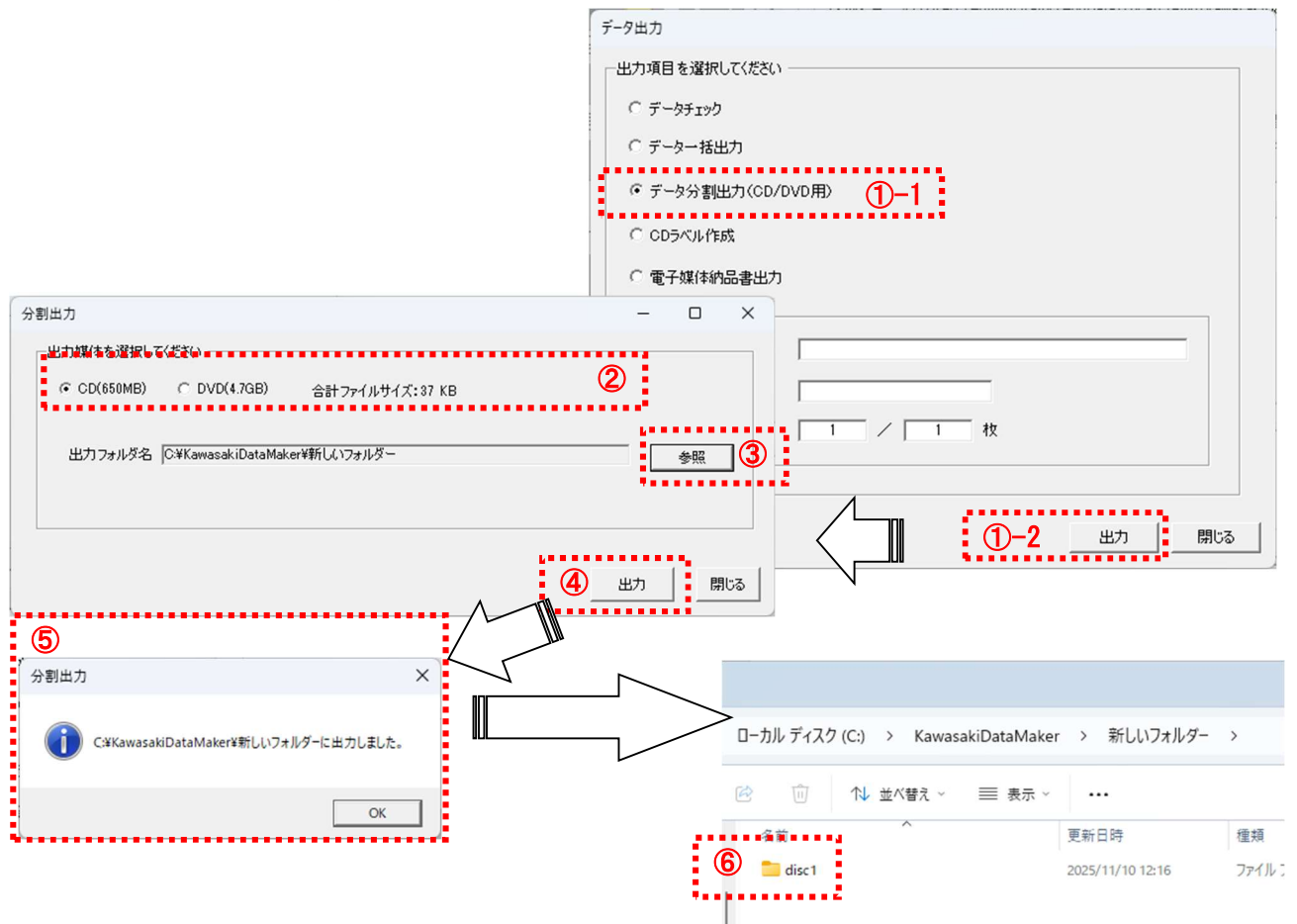
ここでは、納品データを出力（一括出力）する方法について説明します。



- ① **データ一括出力** ボタンを選択した後、**出力** ボタンを押します。
- ② エクスプローラが起動するので、その中のデータを利用してください。

3.6.3 納品データ出力（分割出力）

ここでは、納品データを CD/DVD へ出力するためのデータ出力する方法について説明します。



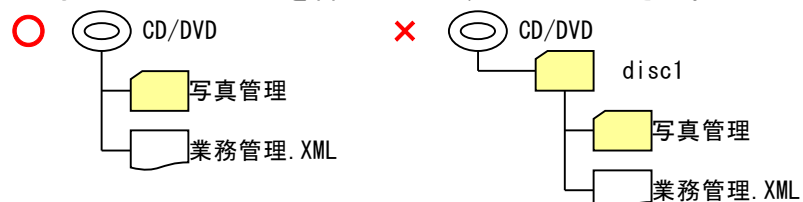
- ① **データ分割出力（CD/DVD用）** ボタンを選択した後、**出力** ボタンを押します。
- ② 分割出力画面が起動するので、出力媒体を選択します。**CD（650MB）** を選択した場合は、CD にデータを出すための単位（=650MB）に分割され、**DVD（4.7GB）** を選択した場合は、DVD にデータを出すための単位（=4.7GB）に分割されます。
- ③ 出力するフォルダを選択するため、**参照** ボタンを押します。ボタンを押すとフォルダ選択画面が表示されるので、データ出力用の空のフォルダを選択します。
- ④ **出力** ボタンを押します。
- ⑤ ダイアログでメッセージが出力され、③で指定したフォルダにデータを出力します。
- ⑥ フォルダの出力は、②で指定したサイズ毎に「disc1」「disc2」・・・とフォルダ出力されるので、それぞれのデータを CD/DVD のメディアに書き込んでください。



Point!

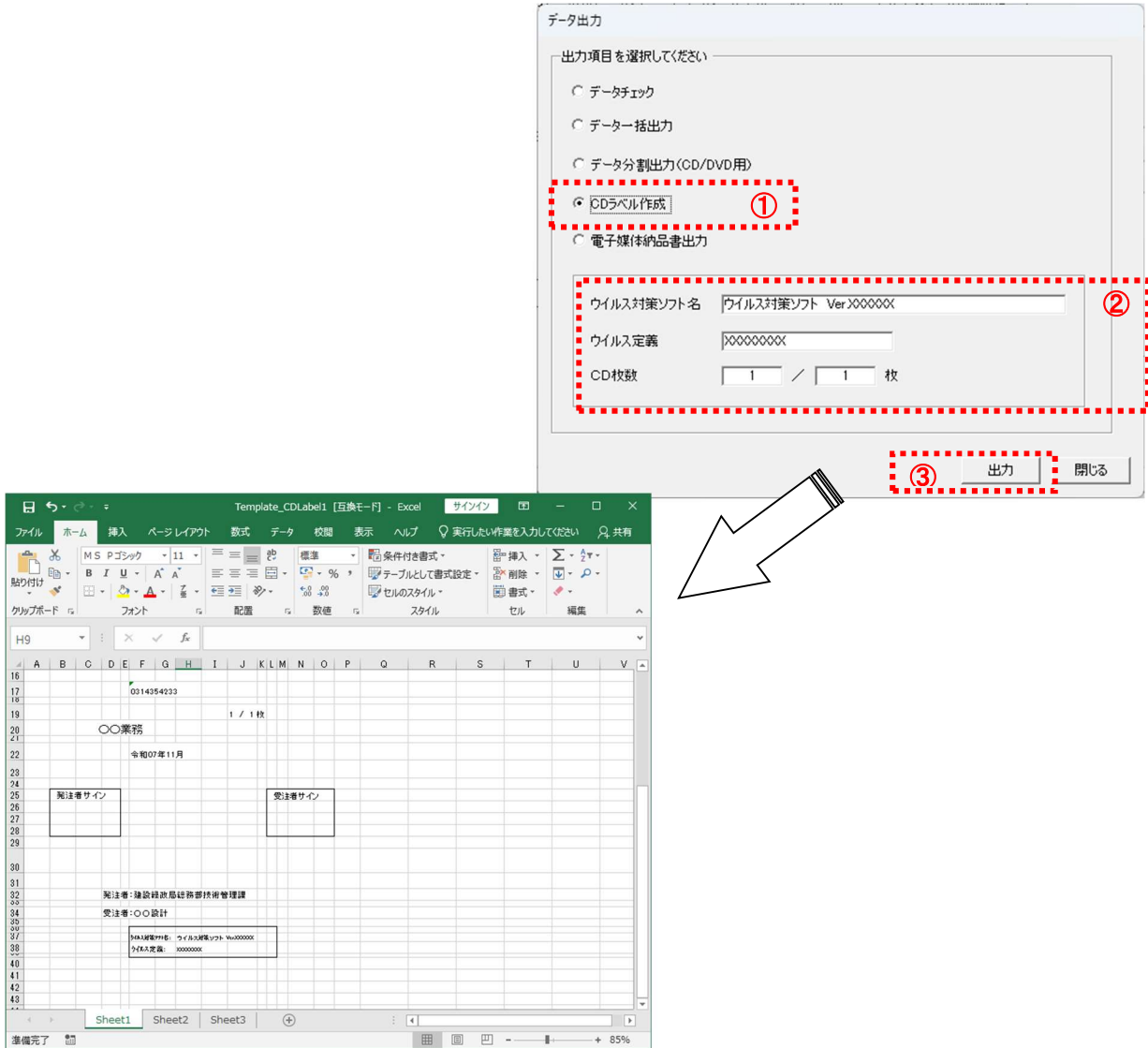
【CD/DVD への書き込みについて】

ツールで出力したデータを CD/DVD のメディアに書き込む際は、「disc1」「disc2」より下のフォルダ・ファイルを書き込むようにしてください。



3.6.4 CDラベル印刷用データ出力

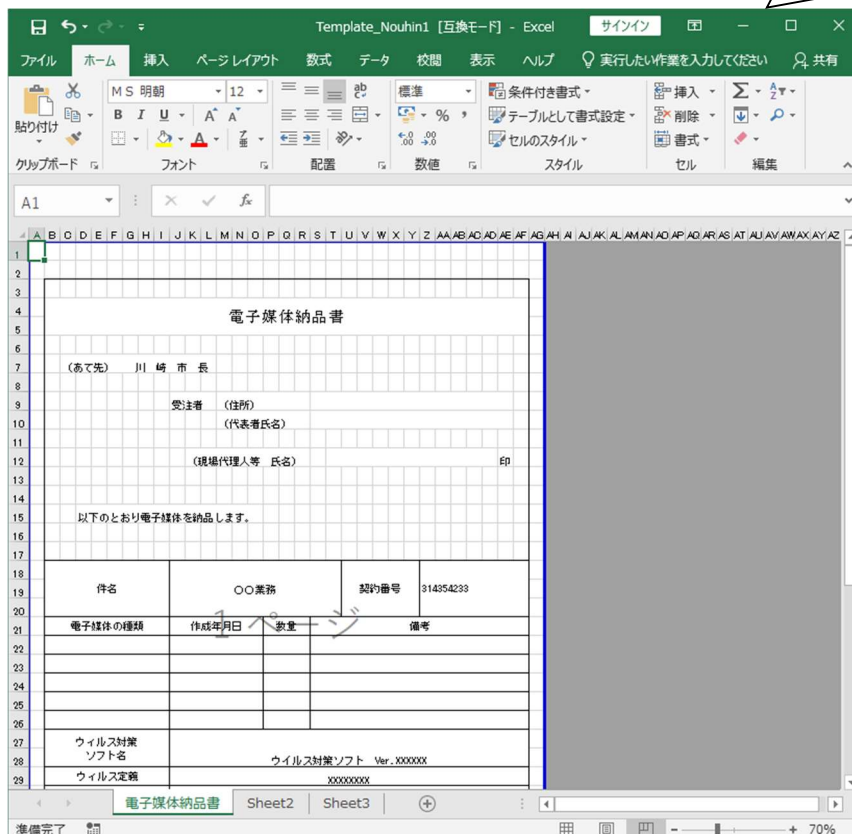
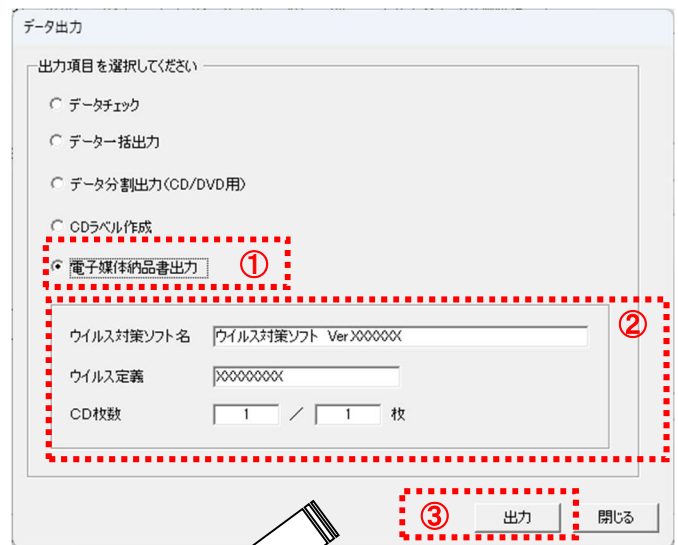
ここでは、CDの印刷用ラベルデータを出力する方法について説明します。



- ① CD印刷用のラベルを作成する場合は、出力項目選択画面で「CDラベル作成」を選択します。
- ② ウイルス対策ソフト名、ウイルス定義、CD枚数に情報を入力します。
- ③ 「出力」ボタンを押します。
- ④ Excelにラベル用のデータが出力されます。このファイルをCDラベル印刷機能のついたプリンタで印刷してください。

3.6.5 電子媒体納品書出力

ここでは、電子媒体納品書を出力する方法について説明します。



- ① 電子媒体納品書を出力する場合、出力項目選択画面で電子納品媒体出力を選択します。
- ② ウィルス対策ソフト名、ウィルス定義、CD枚数に情報を入力します。
- ③ **出力**ボタンを押します。
- ④ Excel に電子媒体納品書が Excel ファイルに出力されます。必要に応じて内容を追記してください。

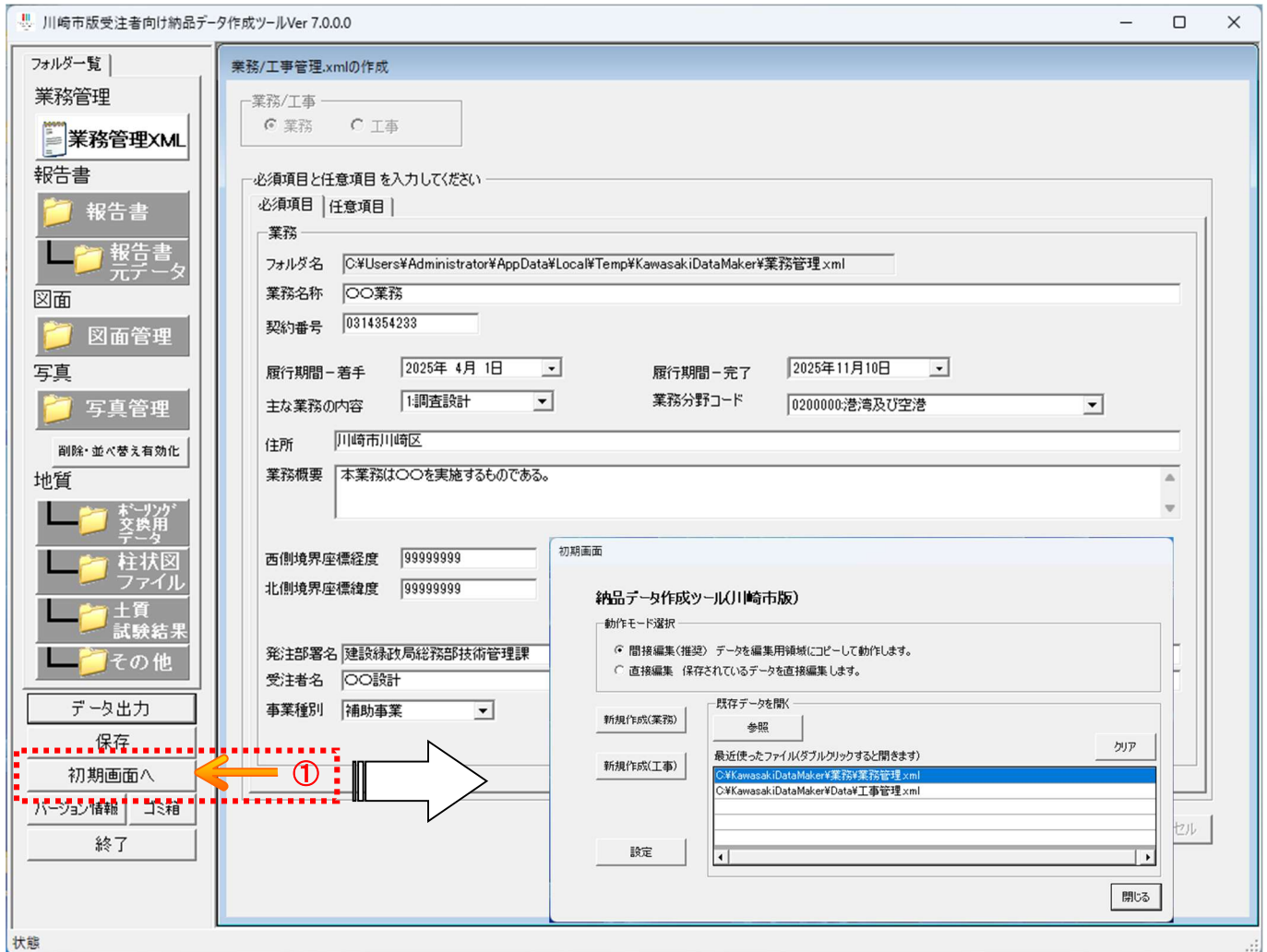
3.7 操作案件の切替

ここでは、納品データ作成ツールで操作している案件を切り替える手順について説明します。

【操作】 メイン画面で初期画面へボタンを押します。

【画面項目説明】

◆『メイン』画面



- ① 初期画面へボタンを押します。
- ② 初期画面が表示されるので、新規作成又は参照により既存のデータを開く等の操作を実施してください。

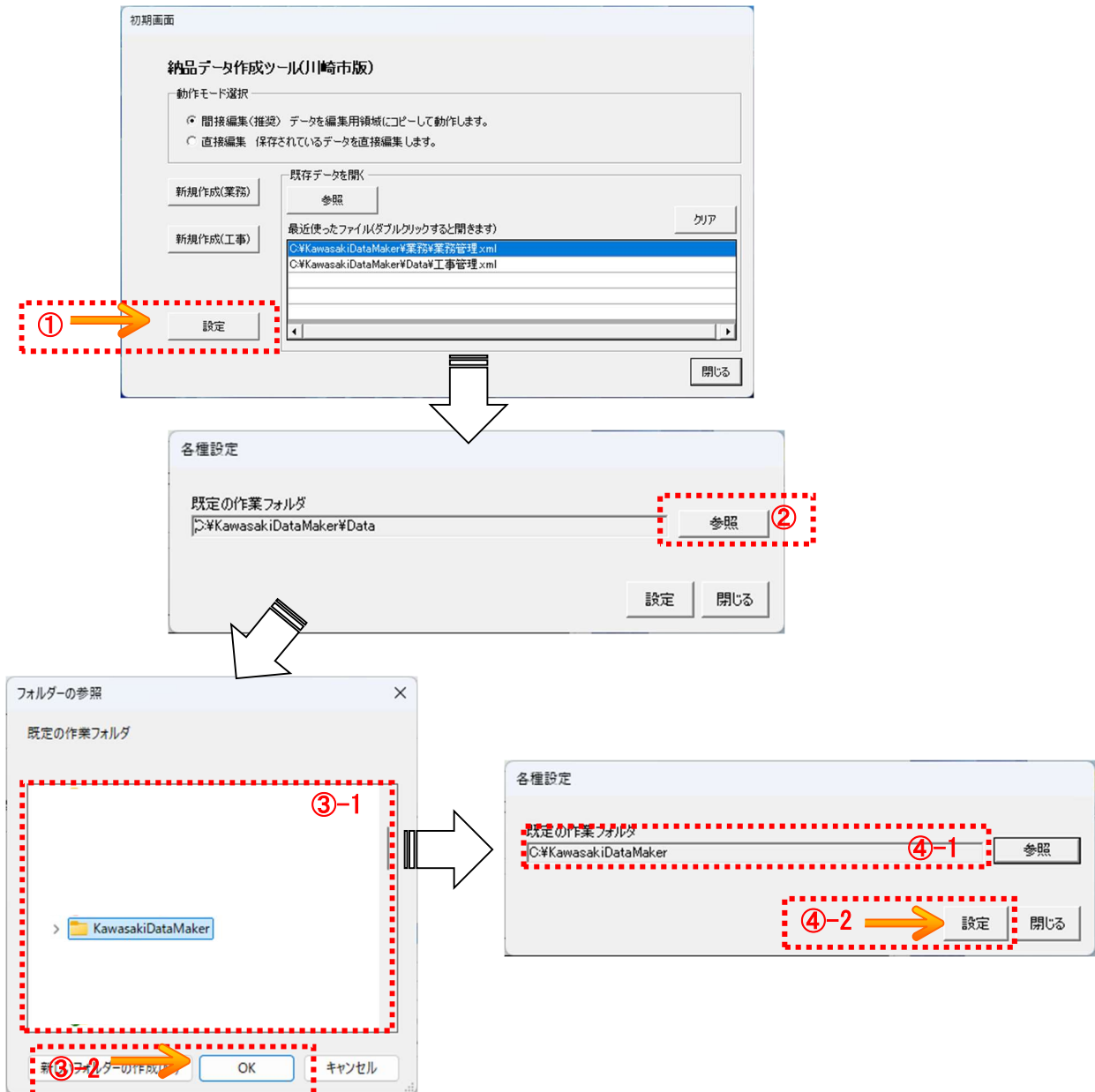
3.8 設定

ここでは、納品データ作成ツールで初期表示されるフォルダを設定する手順について説明します。

【操作】 初期画面で**設定**ボタンを押します。

【画面項目説明】

◆ 『初期画面』



- ③ **設定**ボタンを押します。
- ④ 設定画面が表示されるので、参照ボタンを押します。
- ⑤ フォルダ参照画面が表示されるので、初期表示したいフォルダを選択して、**OK**ボタンを押します。
- ⑥ 既定の作業フォルダに選択したフォルダ名が表示されるので、内容を確認した後、**設定**ボタンを押します。

4. 緯度経度情報の取得

ここでは、案件情報の中にある緯度経度の情報について取得する手順について説明します。

- ① インターネットエクスプローラを起動して以下のアドレスを入力します。
<https://www.gsi.go.jp/KOUKYOU/sokuryosidou41017.html>
- ② 画面が表示されたら、「系を選択してください」のプルダウンから「9系」を選択します。

測量成果電子納品境界座標入力支援サービス

系を選択してください ②



	緯度・経度(十進度)	緯度・経度(度分秒)	平面直角座標
東側	---	---	---
西側	---	---	---
北側	---	---	---
南側	---	---	---

※地図を移動しても座標系は自動で変更されませんので、異なる座標系の地区の座標を取得したい場合には、左上のプルダウンメニューから座標系を選択し直してください。

- ③ マウスのカーソル移動、ホイール操作で座標を取得したい地点まで移動します。

測量成果電子納品境界座標入力支援サービス

9系



	緯度・経度(十進度)	緯度・経度(度分秒)	平面直角座標
東側	---	---	---
西側	---	---	---
北側	---	---	---
南側	---	---	---

※地図を移動しても座標系は自動で変更されませんので、異なる座標系の地区の座標を取得したい場合には、左上のプルダウンメニューから座標系を選択し直してください。

- ④ 地図上で2点マウスクリックをします。クリックすると、地図上にピンが表示されます。その状態で、画面下側の緯度経度の欄に選択した位置の緯度経度が表示されるので、その内容を納品データの各緯度経度情報に入力します。

測量成果電子納品境界座標入力支援サービス

9系

	緯度・経度(十進度)	緯度・経度(度分秒)	平面直角座標
東側	139.70329106	139°42'11.8478"	11792.9219
西側	139.70275998	139°42'9.9359"	11841.1954
北側	35.53115967	35°31'52.1748"	52007.0414
南側	35.5303957	35°31'49.4245"	-52091.732

※地図を移動しても座標系は自動で変更されませんので、異なる座標系の地区の座標を取得したい場合には、左上のプルダウンメニューから座標系を選択し直してください。



【アドバイス】

北端と南端の情報を納品データ作成ツールに入力する際は、必ず先頭に 0 を付与して7桁の数値としてください。
 (例) 北端 : 35° 31' 37" ⇒ 0353137

5. エラー情報の取得

納品データ作成ツールで何らかのプログラム内部エラーが発生した場合、エラーログを下記フォルダに出力するようになっております。

【フォルダ】

C:¥KawasakiDataMaker¥Log フォルダ以下

※：インストール時に初期設定されているインストールフォルダを指定した場合。変更した場合は、変更先のフォルダにある Log フォルダ以下

エラー発生時は、この中にあるファイルと発生状況を明記の上、メール等で問合せを行ってください。